

G

各種設定をする

internavi 設定について	G-2	リアカメラ映像を表示する	G-13
オプションボタンの設定をする	G-2	リアカメラ映像を表示する	G-13
ETCの各機能を設定する	G-3	ビューの切り替えをする	G-13
セキュリティを設定する	G-5	リアカメラガイドを表示/非表示する	G-14
フロントカメラ/コーナーカメラ映像を表示する	G-6	警告文の位置を上げる	G-15
フロントカメラ/コーナーカメラの設定をする	G-6	リアカメラガイドの見かた	G-16
フロントカメラ/コーナーカメラ映像を表示する	G-8	カメラの映像について	G-17
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせで使用する	G-8		
フロントカメラ/コーナーカメラ地点を登録する	G-9	リアカメラの次回表示ビュー設定	
コーナーカメラガイドを表示/非表示する	G-10	(リアワイドカメラ接続時のみ)	G-18
コーナーカメラのビューを切り替える	G-10	キー操作音の設定をする	G-19
コーナーカメラガイドの見かた	G-11	データを初期化(消去)する	G-20
カメラの映像について	G-12	映像中の時計表示の設定をする	G-21

internavi 設定について



インターナビの各種設定をすることができます。

1 **MENU** → **設定** → **internavi 設定** をタッチする。

: internavi 設定画面が表示されます。

2 各操作については別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

オプションボタンの設定をする



本機の  (オプション) によく使う機能を設定することができます。設定すると  をタッチして、右画面地図表示や消音などの操作ができます。

1 **MENU** → **設定** → **システム設定** → **オプションボタン** をタッチする。

: オプションボタン設定画面が表示されます。

2 設定する機能を選んでタッチする。



自宅	自宅までのルート探索をします。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
右画面地図	現在地表示の右画面に地図を表示します。
ミュート	画面はそのまま、オーディオの音量のみ消します。再度  をタッチすると音量が出ます。
昼夜切替	 をタッチするたびに、画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えます。地図設定色も昼用・夜用の色に切り替えます。
フロントカメラ切替 コーナーカメラ切替	画面をフロントカメラまたはコーナーカメラの映像に切り替えます。(別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時のみ表示) ※フロントカメラまたはコーナーカメラを接続した直後は、強制的に フロントカメラ切替 または コーナーカメラ切替 に設定されます。

ETCの各機能を設定する

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCカード挿入アイコンの表示/非表示、料金所通過確認ブザーやETCカード有効期限案内の設定をすることができます。詳しくは別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の説明書をご覧ください。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **ETC** をタッチする。

: ETC設定画面が表示されます。

2

設定する項目を選んでタッチする。



▼ をタッチ



▲ をタッチ



■ カード挿入アイコン表示の設定

- | | |
|------------|---------------------------------------|
| する | ETCカードを挿入すると情報バーに ETC アイコンが表示 |
| しない | ETCカードを挿入しても情報バーに ETC アイコンは非表示 |



カード挿入アイコン表示を **する** に設定している場合、有効期限の切れたETCカードを別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に挿入すると、情報バーに **ETC** アイコンが表示されますが、ETCゲートは通過できませんのでご注意ください。

■ 本体ブザー音の設定

- | | |
|------------|--|
| する | ETCカードを挿入したときや、入口/出口料金所通過時などにETC車載器のブザーでお知らせ |
| しない | ブザーでのお知らせなし |

■ 音声案内の設定

- | | |
|------------|------------------------|
| する | 利用料金などをナビゲーション本体から音声案内 |
| しない | 音声案内なし |

■ カード入れ忘れ警告の設定

- | | |
|------------|--|
| する | 車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にしたときにETCカードが挿入されていない場合、画面と音声でお知らせ |
| しない | お知らせなし |

システム
設定

■ カード有効期限案内の設定

する	ETCカードの有効期限の2か月前または有効期限が切れている場合、ETCカードを挿入するもしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にすると、音声とメッセージ画面でお知らせ
しない	お知らせなし

■ 表示割込み時間の設定

5秒 10秒	ETC関係のお知らせをそれぞれの時間で表示
15秒 30秒	
しない	ETC関係のお知らせはなし



アドバイス

しない に設定していても料金所通過時、料金支払時は表示割込みされます。

セキュリティを設定する

本機は盗難防止抑制の観点からセキュリティ設定機能を搭載しています。設定すると、ナビゲーションがバッテリーから外され、再度接続されたとき、セキュリティコードを入力しないとナビゲーションが起動しません。

また、セキュリティインジケータの設定もすることができます。

セキュリティカードに5桁のセキュリティコードが記載されています。

※セキュリティカードは、なくさないよう保管ください。セキュリティコードを忘れたり、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げのHonda 販売店までお問い合わせください。

※セキュリティコードを変更することはできません。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **セキュリティ** をタッチする。

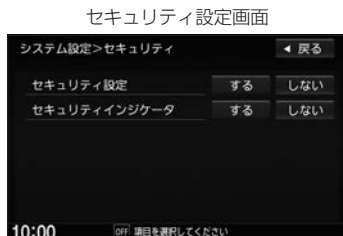
：セキュリティ設定画面が表示されます。

2

設定する機能を選んでタッチする。

■ セキュリティ設定

する	ナビゲーションをバッテリーから外し、再度接続した際にセキュリティコード入力画面を表示
しない	ナビゲーションをバッテリーから外し、再度接続してもセキュリティコード入力画面は非表示



■ セキュリティインジケータの表示設定 ※セキュリティ設定が **する** のときのみ設定可能

する	車のエンジンスイッチが0(ロック)時に、インジケータが点滅
しない	インジケータの点滅なし

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する 別売

本機に別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合、走行速度が低速になると自動的に画面がフロントカメラ／コーナーカメラの映像に切り替わるように設定できます。左右の見通しがよくない場所や道路端への幅寄せ・細い道路でのすれ違いなどで車のフロント付近／左サイドコーナー付近から前方をモニター画面で確認することができます。

フロントカメラ設定／**コーナーカメラ設定** は別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時に表示されます。

※フロントカメラ／コーナーカメラの映像を調整するには **設定**「映像の調整のしかた」0-24

フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする

走行速度に連動してカメラ映像を自動で表示できるようにしたり、**カメラ** アイコンを情報バーに表示するように設定することができます。

1 **MENU** → **設定** → **システム設定** をタッチする。

2 **フロントカメラ設定**／**コーナーカメラ設定** をタッチする。

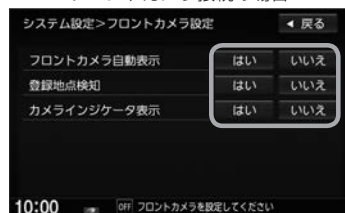
：カメラ設定画面が表示されます。

コーナーカメラを接続している場合は、ボタン表示が **コーナーカメラ設定**



3 設定したい項目を選んでタッチする。

フロントカメラ接続の場合



4 **戻る** をタッチする。

：設定を保存し、システム設定画面に戻ります。

“フロント／コーナーカメラ自動表示” について

車の走行速度が低速になったとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。

“登録地点検知” について

- 登録したカメラ地点に低速で近づいたとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。
- あらかじめカメラ地点を登録しておく必要があります。
 「**フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する**」 G-9
- カメラ地点編集画面で **カメラ地点** の表示灯を消灯している場合は、自動的にカメラ映像は表示されません。
 「**カメラ地点編集をする**」 F-18

“カメラインジケータ表示” について

フロントカメラ／コーナーカメラを接続すると情報バーに

 アイコンを表示する／しないの設定ができます。

アイコンの色について

緑色：低速走行になると自動的にカメラ映像を表示できます。

灰色：低速走行になっても自動的にカメラ映像を表示できません。



アイコン

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する

“フロントカメラ／コーナーカメラ自動表示” や “登録地点検知” で **はい** に設定すると、車速判定機能により、車の走行速度が低速になると自動的にカメラ映像が表示されます。

低速で走行すると・・・

：前方または左前コーナーのカメラ映像を表示します。





走行速度があがると・・・

：もとの画面に戻ります。



アドバイス


フロントカメラ／コーナーカメラ自動表示 **いいえ** を設定した場合

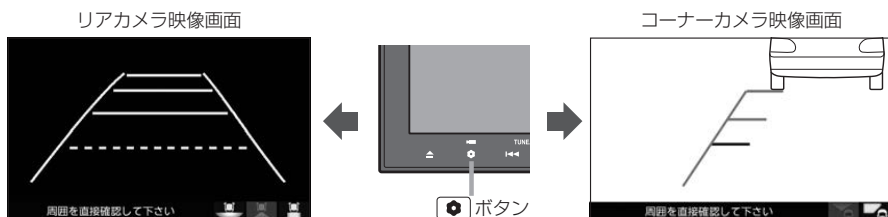
- カメラの操作は、オプションボタンの設定を **フロントカメラ切替**／**コーナーカメラ切替** にしておく必要があります。[設定] G-2
- 低速走行または停車時に  をタッチして、フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示することができます。もとの画面に戻りたいときは、再度  をタッチしてください。
- 高速走行時は  をタッチしても、メッセージが表示されフロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示できません。低速走行になると、1回だけカメラ映像を表示します。(再度  をタッチするとメッセージが表示され、低速走行になってもカメラ映像は表示しません。)

リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使用する

リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使う場合、車のセレクトレバーをリバースに入れているときに、リアカメラとコーナーカメラの映像を切り替えることができます。縦列駐車をする場合などに、映像画面を切り替えて後方と左側面を確認することができます。

1 車のセレクトレバーをリバースに入れる。

※  をタッチするたびに、映像画面が切り替わります。



アドバイス

車のセレクトレバーをリバース以外に入れている場合は、コーナーカメラ映像のみ表示します。リアカメラ映像画面への切り替えはできません。

フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を自動的に表示する地点を登録します。

- 1** 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(—|—)を合わせ、**設定**をタッチする。

：設定MENUが表示されます。


最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

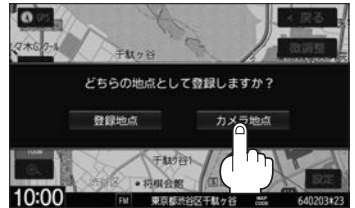


- 2** **地点登録**をタッチする。



- 3** **カメラ地点**をタッチする。

：メッセージが表示され、地図上にカメラ地点マークが追加されます。



デバイス

フロントカメラまたはコーナーカメラを接続していない場合は、どちらの地点として登録するか
のメッセージは表示されません。

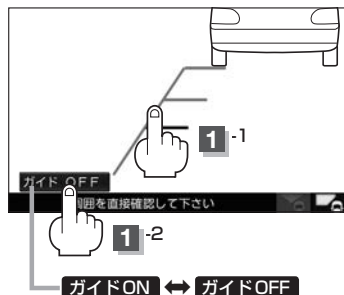
コーナーカメラガイドを表示／非表示する



- 必要なガイド線はHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- フロントカメラではガイド表示はしません。

1 コーナーカメラ映像画面で画面をタッチし、**ガイドOFF**をタッチする。

：コーナーカメラガイドが非表示になります。



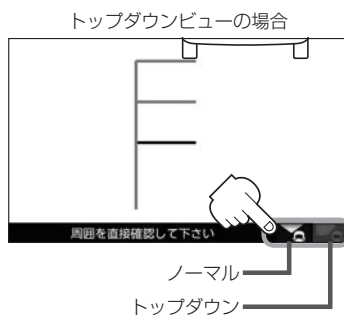
2 再度、表示させるには画面をタッチして**ガイドON**をタッチする。

コーナーカメラのビューを切り替える (コーナーカメラ(2ビュー)接続時のみ)

1 ビュー(ノーマル／トップダウン)切り替えボタンをタッチする。

：それぞれのコーナーカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューは灰色表示となり、タッチできません。



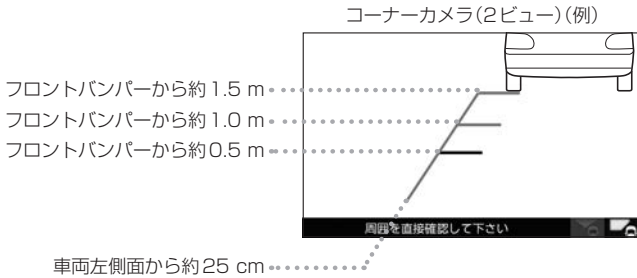
コーナークメラガイドの見かた

画面上に車両の前側バンパー左コーナーと路肩の距離の目安が表示されます。

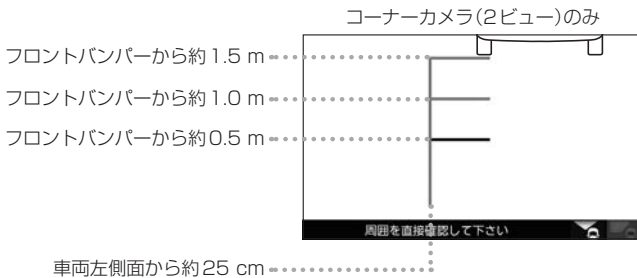
お願い

- 画面上に表示されるコーナークメラガイドは目安です。コーナークメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行わないでください。また、左折時には内輪差に注意してください。
- 道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

■ コーナークメラ(ノーマルビュー)画面



■ コーナークメラ(トップダウンビュー)画面



アドバイス

- ガイド線は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - ・図に示すガイド線の距離は、車種によって異なります。
 - ・次のようなときはガイド線と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド線は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。




お願い

- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 車両の乗車人数や燃料の容量、車両姿勢などによってコーナーカメラガイドの示す位置がずれます。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像は、あくまで運転の補助手段としてご使用ください。安全のためカメラ使用時も直接目で安全確認しながら運転してください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

リアカメラ映像を表示する

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

※リアカメラの映像を調整するには「 「映像の調整のしかた」0-24

リアカメラ映像を表示する

■ 車のセレクトレバーをリバースに入れる

：リバースに入れている間は、リアカメラの映像を表示します。

■ 車のセレクトレバーをリバース以外に入れる

：もとの画面に戻ります。



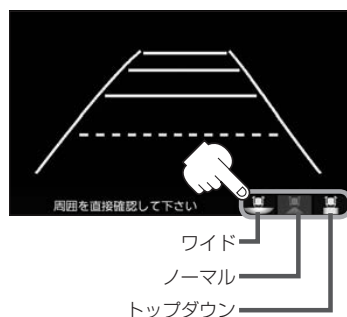
リアワイドカメラ接続時のみ表示

ビューの切り替えをする (リアワイドカメラ接続時のみ)

1 ビュー(ワイド/ノーマル/トップダウン) 切り替えボタンをタッチする。

：それぞれのリアカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューは灰色表示となり、タッチできません。



システム
設定

お願い

ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが十分に周囲の安全を確認してから行ってください。

リアカメラ映像を表示する

リアカメラガイドを表示／非表示する

- 1** パーキングブレーキをかけた車のセレクトレバーをリバースに入れリアカメラ映像画面を表示し、画面をタッチしてボタンを表示させ、**ガイドOFF**をタッチする。

：リアカメラガイドが非表示になります。



アドドライブ

ガイドON ↔ **ガイドOFF** はパーキングブレーキをかけなくてもタッチすることができます。

周囲の安全を確認してから行ってください。

- 2** 再度、表示させるには画面をタッチして **ガイドON** をタッチする。

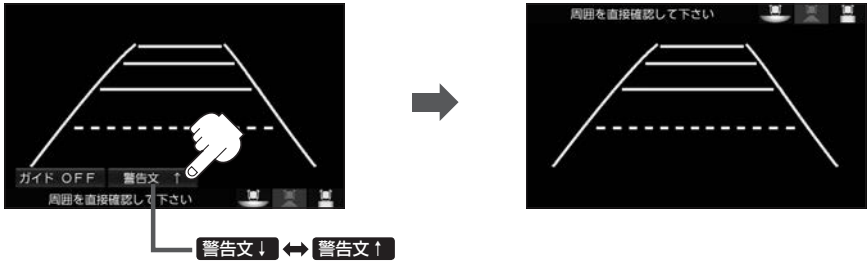
お願い

- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整、警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

警告文の位置を上げる

1 リアカメラ映像画面表示中に画面をタッチして **警告文↑** をタッチする。

：画面下部の警告文が画面上部に表示されます。



2 位置を下げるには画面をタッチして **警告文↓** をタッチする。



アドバイス

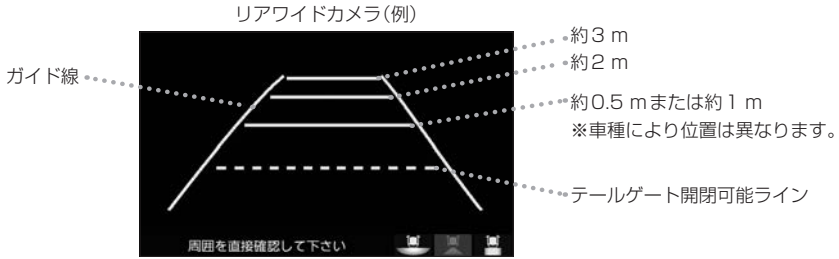
車種によっては、警告文を画面下側にすると車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。その場合は警告文を画面上側にするなどしてください。

リアカメラ映像を表示する

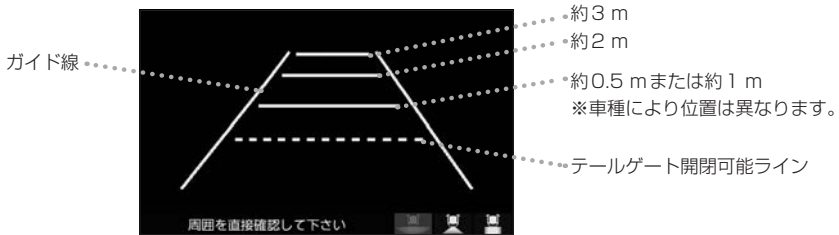
リアカメラガイドの見かた

画面上に車両の後方と車幅や距離感覚を補う目安が表示されます。
接続されているリアカメラの種類および選んだ表示ビューにより見え方が異なります。

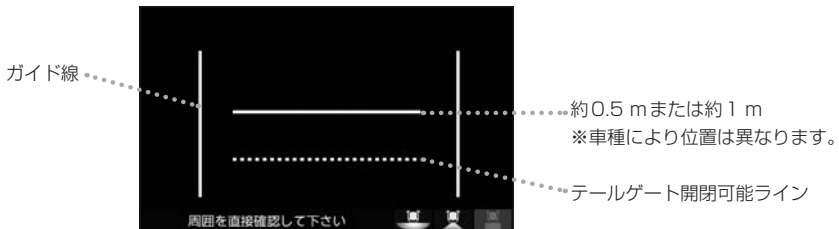
■ リアカメラ、リアワイドカメラ(ノーマルビュー)画面



■ リアワイドカメラ(ワイドビュー)画面



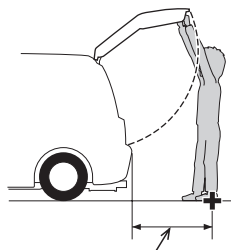
■ リアワイドカメラ(トップダウンビュー)画面





アドバイス

- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、Honda 販売店で設定されます。
- 設定の変更などについては、Honda 販売店にご相談ください。
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - ・ 図(15) G-16)に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
 - ・ 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・ 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・ 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。



テールゲートなどの開閉に必要な距離

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ)

車両標準装備
別売

リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続している場合、リアカメラの次回表示ビューの設定をすることができます。

リアカメラ設定 はリアワイドカメラ標準装備車または別売のリアワイドカメラ接続時に表示されます。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **リアカメラ設定** をタッチする。

: リアカメラ設定画面が表示されます。

2

トップダウンビューでリアカメラ表示を終了したときの次回表示ビューを設定する。

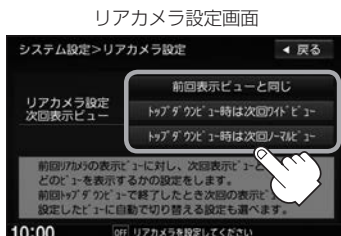
- 次回表示ビューをワイドビューまたはノーマルビューに自動で切り替える

- ① **トップダウンビュー時は次回ワイドビュー** / **トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー** をタッチする。

※リアカメラ表示終了後に 10 km/h を超えて走行していない場合は、次回表示ビューは切り替わりません。

- 次回表示ビューをトップダウンビューのままとする

- ① **前回表示ビューと同じ** をタッチする。



キー操作音の設定をする

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **その他** をタッチする。

: その他画面が表示されます。

2

キー操作音 をタッチする。

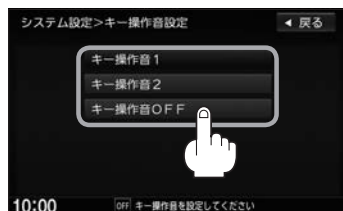
: キー操作音設定画面が表示されます。



3

キー操作音を選んでタッチする。

キー操作音 1	キー操作音 1 を出す
キー操作音 2	キー操作音 2 を出す
キー操作音 OFF	キー操作音を出さない



データを初期化(消去)する

SDカードにあるデータや本機に登録・設定された内容などの情報を初期化できます。

1

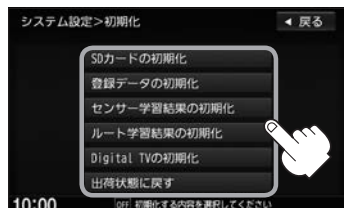
MENU → 設定 → システム設定 → その他 → 初期化 をタッチする。

：初期化画面が表示されます。

2

初期化したい項目をタッチする。

※メッセージが表示されるので画面に従ってください。



SDカードの初期化	SDカードにあるデータを初期化します。
登録データの初期化	音楽データ以外の登録・設定した内容を初期化します。
センサー学習結果の初期化	車の走行状況を初期化します。
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化します。
Digital TVの初期化	デジタルテレビで設定した内容を初期化します。
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。



お願い

- 初期化中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更したりなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **はい** を選ぶと、選択した項目は初期化(消去)され、もとに戻せません。
※すでにデータが書き込まれている“SDカード”を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。



アドバイス

- 録音データの初期化、Gracenoteデータベースの初期化は **アプリ-12** をご覧ください。
- 初期化が終了したら、車のエンジンスイッチを0(ロック)にしてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位・傾斜(3D))を学習し、記録しています。(センサー学習度)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習度の初期化を行ってください。
- 本機はルート案内中に通った道を学習しており、ルート設定では学習した道を探索しやすくなります。従って、他の効率の良い道が見つかって、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。
- **出荷状態に戻す** をタッチしたときはオーディオがOFFになります。

映像中の時計表示の設定をする

映像の全画面表示中に時計を表示する／しないを選べます。

1

MENU → 設定 → システム設定 → その他 をタッチする。

：その他画面が表示されます。

2

表示設定を選んでタッチする。

する	時計を表示する
しない	時計を表示しない



オーディオを楽しむ

オーディオの基本操作	H-2	BLUETOOTH Audioを使う	H-26
ソースを選ぶ	H-2	機器を初期登録設定する	H-26
映像の表示について	H-2	登録した機器の詳細情報を見る／	
音量を調整する	H-2	登録した機器を削除する	H-27
オーディオをON/OFFする	H-3	登録機器を切り替える	H-28
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	H-3	登録した機器の自動接続／優先接続を設定する	H-29
音声はそのまま画面を消す	H-3	本機のBLUETOOTH情報を確認する	H-30
時計を表示する	H-4	デバイス名／パスキーを変更する	H-30
CDを聞く	H-5	音楽を再生する	H-31
CDを再生する	H-5	選曲する	H-31
選曲する	H-6	音楽を早戻し／早送りする	H-33
早戻し／早送りする	H-6	音楽をリピート／ランダム再生する	H-33
リピート／ランダム／スキャン再生する	H-7	Music Rackを使う	H-34
オンライン検索をする	H-8	音楽を再生する	H-34
FM / AM を聞く	H-9	選曲する	H-34
FM / AM を聞く	H-9	音楽を早戻し／早送りする	H-37
選局する	H-9	音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する	H-37
道路交通情報を聞く	H-11	Music Rackの曲管理を行う	H-38
iPod / iPhone を使う	H-12	ジャケット写真を登録する	H-40
再生する	H-12	ジャンルを変更する	H-41
音楽を選曲する	H-13	お気に入り登録する	H-42
音楽を早戻し／早送りする	H-15	お気に入りから削除する	H-43
音楽をリピート／シャッフル再生する	H-15	お気に入りフォルダ名を変更する	H-43
ビデオを再生する	H-16	フェード・バランスの調整をする	H-44
iPod / iPhone を本機に接続する	H-17	イコライザー(音質)の設定をする	H-44
USB 機器 / SD カードを使う	H-19	サラウンドの設定をする	H-46
再生する	H-19	スピーカーの設定をする	H-47
音楽を選曲する	H-20	車速連動音量を設定する	H-48
音楽を早戻し／早送りする	H-21		
音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する	H-22		
画像を再生する	H-22		
再生する画像を選ぶ	H-23		
画像のスライドショーを表示する	H-23		
表示中の画像を回転する	H-23		
動画を再生する	H-24		
リストより再生する動画を選ぶ	H-24		
USB 機器を接続する	H-25		
USB 機器の接続をやめる	H-25		

オーディオの基本操作

ソースを選ぶ

1

AUDIO をタッチする。

：AV MENU画面またはオーディオ画面が表示されます。

※オーディオ画面が表示された場合は、再度 **AUDIO** をタッチしてください。

2

操作したいソースをタッチする。

：選んだソースのオーディオ画面が表示されます。

AV MENU画面

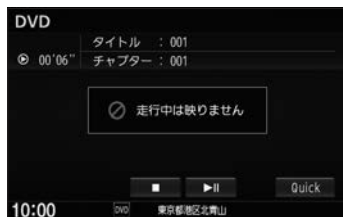


映像の表示について

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧にすることができます。(走行中は音声のみになります。)

※別売のリア席モニターを接続している場合、リア席モニターでは走行中でも映像をご覧いただけます。

DVDソース画面(例)



音量を調整する

1

▼ / **▲** をタッチする。

：画面に現在の音の大きさを示す音量表示が表示されます。

※押し続けても調整することができます。

USBソース画面(例)




▲ をタッチすると音量を上げ、
▼ をタッチすると音量を下げます。



- DVD / BLUETOOTH Audio / VTR / AUX / HDMI ソースは個別に設定可能です。
- **⊗** (オプション) にミュート機能を設定している場合は、**⊗** をタッチして音を消すことができます。
- **⊗** 「オプションボタンの設定をする」 G-2

オーディオをON / OFFする

1  をタッチする。


：オーディオの各ソースを再生 / 終了します。

※録音中の場合、CDソースを終了しても録音は継続されます。




BLUETOOTH Audioソースの場合、BLUETOOTH Audio対応機器や携帯電話の仕様によっては、オーディオをOFF / 車のエンジンスイッチをO (ロック) にしても、再生を継続するものもあります。電池の消費などが気になる場合には、手動で再生を停止させるか、機器の電源をOFF にしてください。



音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

1 各ソースの画面で、 をタッチする。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

※今聞いているソース画面に戻すには再度  をタッチしてください。




音量調整や  /  を使った操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

音声はそのまま画面を消す


画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1  を長押しする。

：画面が黒くなります。

※再度画面を表示するには画面をタッチ、または  をタッチしてください。



- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- リアカメラを接続してカメラ映像を表示している場合は、 を長押ししても画面を消すことはできません。

時計を表示する

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

1 各ソースの再生画面で、**切替**をタッチする。

：画面中央に時計が大きく表示されます。

※映像を表示するソースの場合、本設定はできません。

※再度オーディオ画面に戻すには、画面をタッチし、

切替をタッチしてください。

USBソース再生画面(例)



CDを再生する

1 ディスクを入れる。(A-16)



アドバイス

- Music Rackに1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ自動で録音を開始します。(自動録音/手動録音は変更できます。A-12)
- すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AUDIOメニューから**CD/DVD**をタッチしてください。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。

トラック名/アーティスト名/アルバム名について

- 表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。走行中はスクロールしません。
- ディスクにCD-TEXT情報があれば、CD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
※市販されているほとんどの音楽CDにはCD-TEXT情報は入っていません。
- CD-TEXT情報がなくGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名が表示されます。
- ディスクにCD-TEXT情報がなくGracenoteデータベースにもヒットしなければ、アーティスト名/アルバム名は“No Title”と表示され、トラック名は“TRACK XX”(XXはトラック番号)と表示されます。ジャンルは空欄となります。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

CDを聞く

選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

- ①  /  をタッチする。



アドバイス

音楽CD録音中は、トラックを戻したり、進めることはできません。

■ トラックリストから選曲する

- ①  →再生したい曲をタッチする。



トラックリスト表示





アドバイス

- タイトル情報がない場合、トラックリストにはTRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
- MP3/WMA ファイルを再生中の場合、再生しているフォルダ内のトラックリストが表示されます。

■ フォルダ選曲する(MP3/WMAのみ)

- ①  /  をタッチする。

	前のフォルダに戻る
	次のフォルダに進む





早戻し／早送りする

1

-  /  を長押しする。



アドバイス

- 音楽CD録音中は、トラックを戻したり、進めることはできません。
-  /  をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

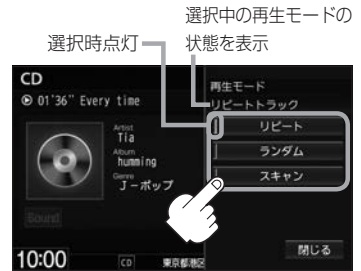
リピート／ランダム／スキャン再生する

1

再生モード をタッチする。

2

再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

	CD	MP3/WMA
リピート	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示) ↓ リピート再生解除(マーク非表示)	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示) ↓ フォルダ内の曲のリピート (REPEAT FOLDER 表示) ↓ リピート再生解除(マーク非表示)
ランダム	ディスク内の曲をランダム再生 (RANDOM 表示) ↓ ランダム再生解除(マーク非表示)	選曲中フォルダ内の曲を ランダム再生(RANDOM 表示) ↓ ランダム再生解除(マーク非表示)
スキャン	曲の初め(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 ディスク内の曲をスキャン再生(SCAN 表示) ↓ スキャン再生解除(マーク非表示)	



アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

オンライン検索をする ※市販の音楽CDの場合

Gracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、インターナビ用データ通信USBを利用してGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。

1

オンライン検索 をタッチする。

：インターナビ用データ通信USBを利用したデータ通信(接続)を開始します。

※接続に成功するとGracenote音楽認識サービス(サイト)より、タイトル情報を取得します。

※取得をやめる場合は、メッセージ表示中に **中止** をタッチしてください。

(タイトル情報更新中に **中止** は選べません。)



アドバイス

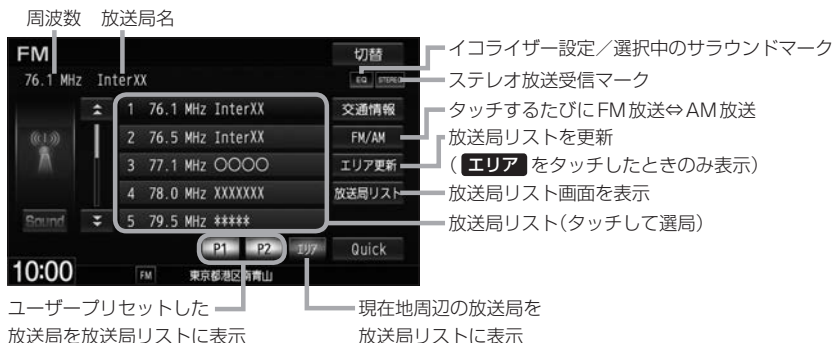
- 新作CDなどは、情報が取得できない場合があります。
- オンライン検索は、CDソースまたはMusic Rackソースから行うことができますが、録音後にCDソースでオンライン検索をしてもMusic Rackソースには反映されません。
 - ※録音前にCDソースでオンライン検索をしておくとMusic Rackソースでもタイトル情報が反映されます。
 - 録音後にCDソースでオンライン検索した場合はMusic Rackソースではオンライン検索をしなくてもデータベース再探索をしてタイトル情報を更新することができます。
- 電波状況や情報のデータ量によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 以下の場合は、オンライン検索は使用できません。
 - ・他の通信を行っているとき
 - ・接続しているインターナビ用データ通信USBの圏外に車が移動したとき
 - ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 情報のデータ量や電波状況によっては、情報の取得に時間がかかる場合があります。
- 情報取得が終了すると、自動的に通信回線は切断されます。
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得していただくことになります。
- 必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。該当する情報が取得できない場合もあります。
- タイトル情報が複数ある場合は、好きなアルバムを選ぶことができます。

FM / AMを聞く

FM / AMを聞く

1 AUDIOメニュー(☰ A-14)から**FM/AM**をタッチする。

2 放送局リストからお好みの放送局をタッチする。



放送局名は、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

選局する

■ 手動選局する

ひとつずつ上下する	/ をタッチ : 操作するたびに、FMは0.1 MHz、AMは9 kHz ずつ変わります。
連続して上下する	/ を長押しする ※押し続けている間、周波数が早送り / 早戻しされます。お好みの周波数で指をはなしてください。 ※ / をしばらく押し続けていると周波数の早戻し / 早送りが止まります。

■ 自動選局する

① / を長押しする。

: 自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、繰り返してください。

※自動選局中に / をタッチすると自動選局は止まります。



受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

FM / AMを聞く

■ プリセット選局(P1 / P2)する

P1 / P2にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

□ 放送局をメモリーする

FM、AMでP1 / P2に6局ずつメモリーできます。

- ① **P1** / **P2** を選んでタッチする。
- ② **◀◀** / **▶▶** をタッチしてメモリーしたい放送局を選ぶ。
- ③ メモリーしたいボタンを、ボタンの表示が放送局の表示に変わるまで長押しする。



□ メモリーした放送局を呼び出す

- ① **P1** / **P2** →呼び出したい放送局をタッチする。
：選んだ放送局を受信します。

■ エリア選局する

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

- ① **エリア** →呼び出したい放送局をタッチする。

：選んだ放送局を受信します



- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数(ボタンの数)は変わります。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局リストは自動的に更新されませんので、長距離移動したときなど現在地周辺の放送局リストを表示できていない場合があります。その場合は、**エリア更新** をタッチして現在地周辺の放送局リストに更新してください。

■ 放送局リスト選局する

受信できる放送局のリストを表示します。

※FM / AMソース以外のとき、自動で放送局をサーチします。

① **放送局リスト** →呼び出したい放送局をタッチする。

: 選んだ放送局を受信し、ひとつ前の画面に戻ります。

□ **放送局リスト選局でリストを更新する**

手で車の現在地周辺で放送されている放送局のリストへ更新します。

① **リスト更新** をタッチする。

放送局リスト画面



: サーチ中はリスト表示や音声が消え、サーチが完了すると更新された放送局リストが表示されます。受信できる放送局がない場合は、**リスト更新** をタッチする前のリストを表示します。



アドバイス

- リスト更新を行うとエリア選局の放送局名も更新されます。
- 自動で取得した放送局リストが正しく表示されない場合、リスト更新をすることで最新の放送局に更新することができます。

道路交通情報を聞く

1

交通情報 をタッチする。

: 交通情報受信画面になり、道路交通情報を受信します。



アドバイス

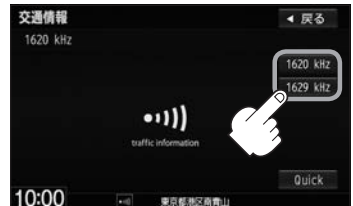
交通情報画面は AV MENU 画面の **交通情報** をタッチしても表示させることができます。

2

1620kHz または **1629kHz** をタッチする。

: 選んだ周波数の道路交通情報を受信します。

※受信をやめるには **戻る** をタッチしてください。
最後に選んでいたソースが表示され、交通情報の受信を終了します。



iPod / iPhone を使う

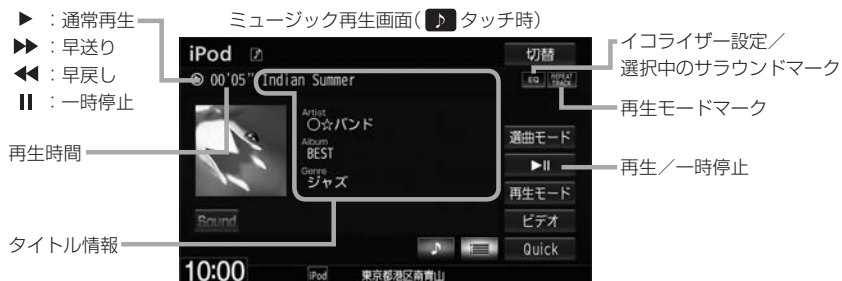
あらかじめ iPod / iPhone を本機と接続(☞ H-17)しておく必要があります。

※ iPod / iPhone は iPod ソースで再生します。USB ソースでは動作しません。

再生する

1 AUDIOメニュー(☞ A-14)から **iPod** をタッチする。

※ビデオを再生したい場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチしてください。



アドバイス


- 表示内容は iPod / iPhone 本体で表示されるトラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名となります。ただし、iPod / iPhone の機種やバージョンによっては、トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名が正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語 / 英数字のみ表示可能です。
- iPod / iPhone 本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では～(ハイフン表示)となります。
- iPod / iPhone 本体の設定の "EQ" を "オフ" 以外にすると、音質が悪くなる場合があります。

音楽を選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする


- ①  /  をタッチする。

■ トラックリストから選曲する

- ①  → 再生したい曲をタッチする。



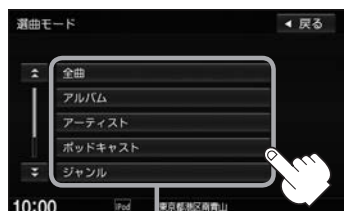
アドバイス

表示されるリストは選曲モード( H-14)によって変わります。

■ 選曲モードから選曲する

① 選曲モード → 選曲方法を選んでタッチする。

※走行中は、安全のため **全曲** 以外は操作できません。



選曲モードのリスト


全曲	再生画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。
アルバム	再生したいアルバム⇒トラックを選んでタッチ
アーティスト	再生したいアーティスト⇒アルバム⇒トラックを選んでタッチ
ポッドキャスト	再生したいポッドキャストを選んでタッチ
ジャンル	再生したいジャンル⇒アーティスト⇒アルバム⇒トラックを選んでタッチ
プレイリスト	再生したいプレイリスト⇒トラックを選んでタッチ
作曲者	再生したい作曲者⇒アルバム⇒トラックを選んでタッチ

すべて をタッチした場合は、絞込みをせずに次のリスト表示をします。

例えば、アーティストリストで **すべて** をタッチした場合、次に表示されるアルバムリストはiPod中にある全てのアルバムが表示されます。



アドバイス

- 選曲モードは、iPod / iPhone 本体に収録されている内容となります。
- iPod / iPhone のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- **再生中画面**  をタッチすると再生画面に戻ります。
- トラックリストのとき、トラック名が表示しきれない場合にタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※ トラック名スクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示となる場合があります。

音楽を早戻し / 早送りする

1

 を長押しする。

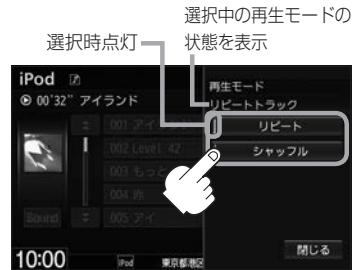
音楽をリピート / シャッフル再生する

1

再生モード をタッチする。

2

再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示) ←
	↓
	リピート再生解除 (マーク非表示) ←
シャッフル	今聞いているリストの中からシャッフル再生 (SHUFFLE TRACK 表示) ←
	↓
	今聞いているアルバムごとにシャッフル再生 (SHUFFLE ALBUM 表示)
	↓
	シャッフル再生解除 (マーク非表示) ←



アドバイス

シャッフル再生は曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため、同じ曲が連続で再生されることがあります。

ビデオを再生する

1

AUDIOメニュー(☰ A-14)から **iPod** をタッチする。

※ミュージックが再生される場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチしてください。

■ リストより再生するビデオを選ぶ

① ビデオ再生中に、画面をタッチしてファイルリストと操作ボタンを表示させる。

② リストから再生したいファイルを選んでタッチする。



アドバース

ファイルリストを変更するには、**リスト** をタッチし、表示されたリストから選んでください。さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。



ファイルリスト

■ ビデオをリピート再生する

① ビデオ再生中に、画面をタッチしてファイルリストと操作ボタンを表示させる。

② **再生モード** → **リピート** をタッチする。

※ **リピート** をタッチするたびに、再生中のビデオをリピート⇄リピート解除が切り替わります。



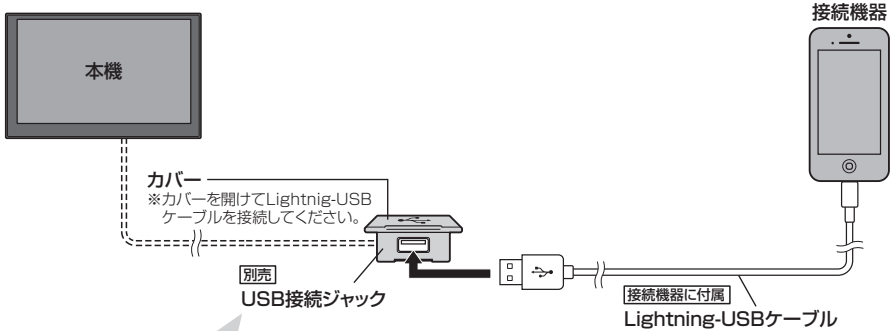
アドバース

- iOS のバージョンにより、iPod touch、iPhone が映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードを使うには、iPod 本体で TV 出力の設定を“オン”にしてください。
- 映像データがないときは画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod / iPhone 本体の操作はできません。
- iPod ビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)を iPod / iPhone がおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度 iPod ビデオモードにすると前回の続き(再生位置)から再生が始まります。ただし、車のエンジンスイッチを O(ロック)にしたりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、リジューム機能は解除され、リストの一番上の曲から再生となります。
- アーティスト/アルバムなどのタイトル情報を登録していないビデオは選択(再生)できません。
- ビデオモードに対応していない iPod の場合、映像は表示されません。画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**ミュージック** をタッチしてミュージックモードに戻してください。

iPod / iPhone を本機に接続する

Lightning コネクタの場合

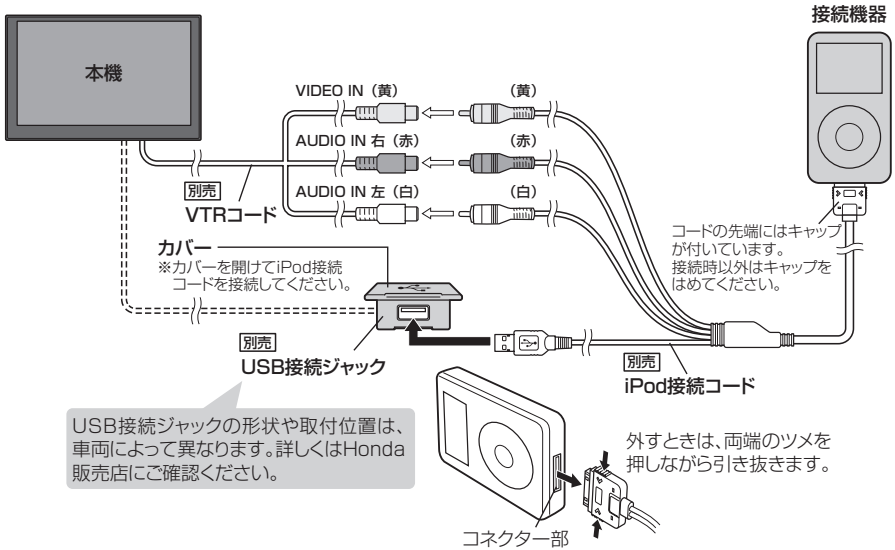
※ビデオ再生はできません。



USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。

Dock コネクタの場合

※別売のVTRコードとiPod接続コードを使用すると音楽・ビデオの再生が可能となります。



USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。



アドバース

- USB 接続ジャックに USB 機器や USB メモリーデバイスコードが接続されている場合は外してください。
[音] H-25
※ iPod 使用時は、USB 機器は使用できません。
- USB 接続ジャックから Lightning-USB ケーブルや iPod 接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。
- VTR コードに VTR 機器が接続されている場合は外してください。[音] L-2
- 未接続の場合、AV MENU 画面で **iPod** は選べません。

iPod / iPhone を本機に接続すると

- iPod / iPhone に収録されたデータが本機に表示されます。
(なにも収録されていない場合は動画や曲を見たり聞いたりすることはできません。)
- 本機に接続すると、起動中は iPod や iPhone へ充電を行います。
- 接続中は iPod / iPhone 本体を操作しないでください。
- iPod / iPhone が正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPod / iPhone を外して iPod / iPhone をリセットしてから再度接続してください。
- 端末によってはヘッドフォンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機に iPod / iPhone を接続するときはヘッドフォンなどの機器は外して iPod / iPhone 単体でお使いください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチを O (ロック) にすると数分後に iPod 本体の電源も OFF されます。(ただし、車のエンジンスイッチを O (ロック) にした場合の動作は iPod に依存しますので保証するものではありません。)
- iPod ソースのときに、iPod / iPhone の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のエンジンスイッチを O (ロック) にしたあとは、必ず iPod / iPhone を取り外してください。iPod / iPhone の電池を消耗することがあります。

USB機器／SDカードを使う

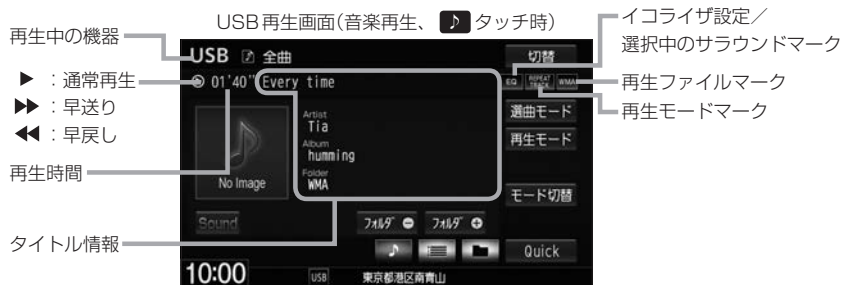
あらかじめUSB機器(USBメモリー／ウォークマン[®])を本機と接続(☞ H-25)／SDカードを本機に挿入(☞ A-16)しておく必要があります。

再生する

1

AUDIOメニュー(☞ A-14)から **USB** または **SD** をタッチし、
モード切替 → **音楽ファイル** ／ **画像ファイル** ／ **動画ファイル** をタッチする。

※画像／動画を再生中に操作ボタンが表示されていない場合は、画面をタッチしてください。



アドバイス

- トラック名／アーティスト名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名／フォルダ名が表示しきれない場合は、タッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- ウォークマン[®]に転送した「MP3」「WMA」「AAC」ファイルはフォルダ選曲でのみ再生できます。
- USB機器について☞ O-34／SDカードについて☞ O-33／音楽ファイルについて☞ O-44／画像ファイルについて☞ O-48／動画ファイルについて☞ O-49

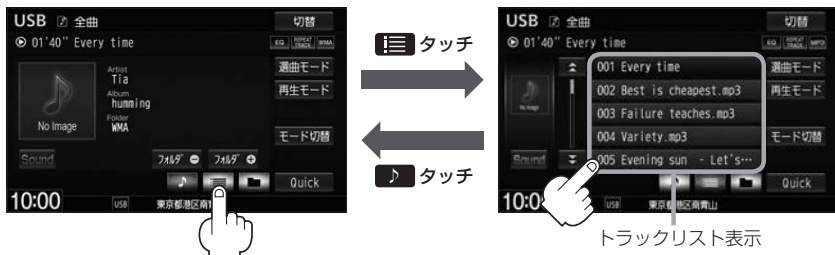
音楽を選曲する


■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

- ①  /  をタッチする。

■ トラックリストから選曲する

- ①  →再生したい曲をタッチする。








表示されるリストは選曲モード( H-21)によって変わります。

■ フォルダ選曲する(USBメモリー／SDカード)／アルバム選曲する(ウォークマン[®])

- ①  /  →再生したいフォルダ／アルバムをタッチする。



USBメモリー／SDカードご使用の場合

再生画面( タッチ時)のとき、 /  をタッチしてフォルダを選ぶこともできます。(ウォークマン[®]は  /  は表示されません。)



ウォークマン[®]ご使用の場合

- 選曲モードでフォルダを選んだ場合は、 が  に変わります。
- 選曲モードでジャンル／グループ／プレイリストを選んだ場合は、 はタッチできません。
- 表示されるリストは選曲モード( H-21)によって変わります。

■ 選曲モードから選曲する

- ①
- 選曲モード**
- 選曲方法を選んでタッチする。

※走行中は、**全曲** 以外は操作できません。

- ② 表示されるリストから選んでいき、再生したい曲を選んでタッチする。

全曲	再生画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。
アルバム * 1	再生したいアルバム → トラックを選んでタッチ
アーティスト * 1	再生したいアーティスト → アルバム → トラックを選んでタッチ
ジャンル * 1	再生したいジャンル → トラックを選んでタッチ
グループ * 1	再生したいグループ → トラックを選んでタッチ
プレイリスト * 1	再生したいプレイリスト → トラックを選んでタッチ
フォルダ	再生したいフォルダ → トラックを選んでタッチ

* 1…ウォークマン®のみ

- ③
- 再生中画面**
- ← をタッチする。

：再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチするとひとつ前の画面に戻ります。



アトバイス

- 選べる選曲モードは機器により異なります。
- USB機器 / SDカードに収録されている曲数が増えるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

音楽を早戻し / 早送りする

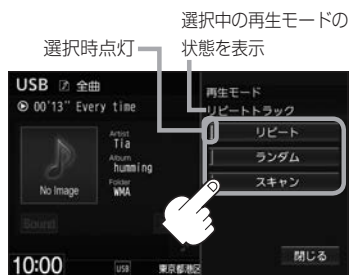
1

/ を長押しする。

音楽をリピート / ランダム / スキャン再生する

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート(REPEAT TRACK 表示) ←
	↓
	リピート再生解除(マーク非表示) ←
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生(RANDOM 表示) ←
	↓
	ランダム再生解除(マーク非表示) ←
スキャン	曲の初め(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 今聞いているリストの中からスキャン再生(SCAN 表示) ←
	↓
	スキャン再生解除(マーク非表示) ←



ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

画像を再生する

1 AUDIOメニュー(A-14)から **USB** / **SD** をタッチする。

2 操作ボタンから **モード切替** → **画像ファイル** をタッチする。

※操作ボタンが表示されていない場合は、画面をタッチしてください。



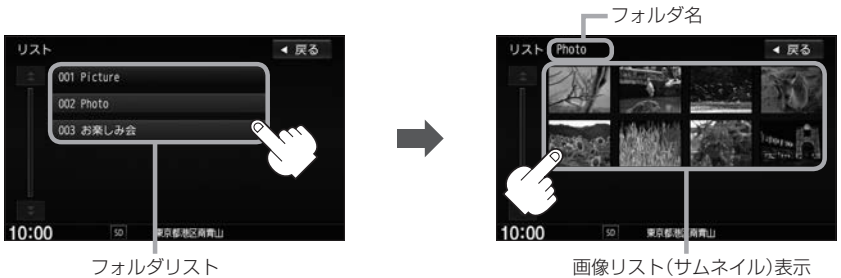
再生する画像を選ぶ

■ 1つずつ次の画像 / 前の画像を表示する

- ①  /  をタッチする、
または全画面表示時(タッチボタン非表示時)に左右ヘドラッグ / フリック操作する。

■ リストより画像を選ぶ

- ① 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**リスト** をタッチする。
② フォルダを選んで、再生したい画像を選んでタッチする。



アドバイス

画像ファイルのサイズが大きい場合、表示されるまでに時間がかかることがあります。

画像のスライドショーを表示する

選んでいるフォルダ内のファイル(画像)のスライドショーが開始されます。

1

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**スライドショー** をタッチする。

: 設定した再生間隔でスライドショーを表示します。

※スライドショーをやめるには、画面をタッチ→**終了** をタッチしてください。



アドバイス

再生間隔を変更できます。スライドショー表示中に画面をタッチ→**再生間隔** をタッチし、お好みの時間を
選んでタッチしてください。


表示中の画像を回転する

1

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**回転** をタッチする。

※タッチするたびに表示中の画像が90度ずつ右に回転(時計回り)します。

動画を再生する

1 AUDIOメニュー( A-14)から **USB** / **SD** をタッチする。

2 操作ボタンから **モード切替** → **動画ファイル** をタッチする。

※操作ボタンが表示されていない場合は、画面をタッチしてください。



操作ボタン

リストより再生する動画を選ぶ

1 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、 **再生リスト** をタッチする。

2 再生したい動画ファイルを選んでタッチする。



アドバース

リストは変更できません。

全ファイルをリスト表示

再生リスト → **リスト変更** → **全ファイル** *¹をタッチ

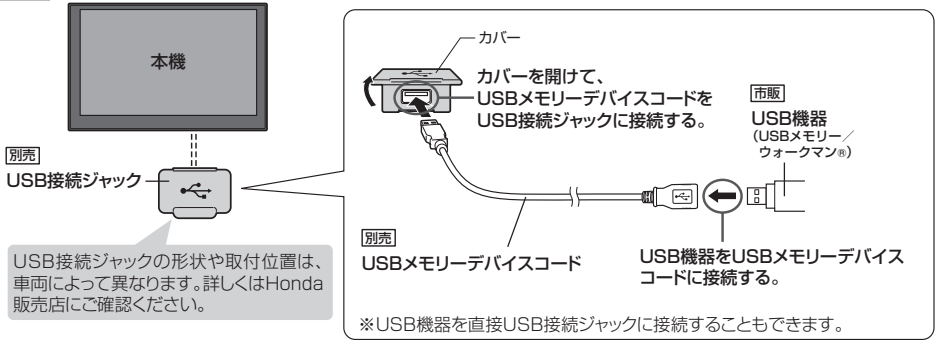
選んだフォルダ内の
ファイルをリスト表示

再生リスト → **リスト変更** → **フォルダ** *¹ → フォルダリストから選んで
タッチ

* 1…ウォークマン®の場合、 **全ファイル** が **全てのビデオ**、 **フォルダ** が **VIDEO** に変わります。

USB機器を接続する

1 別売のUSB接続ジャックとUSB機器を接続する。



アドハイス

- 車のエンジンスイッチが0(ロック)の状態で行ってください。
- USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合はそちらを外してください。[H-17] ※USB機器使用時は、iPodは使用できません。

USB機器の接続をやめる

1 [電源] をタッチする。

：オーディオをOFFします。

2 USB接続ジャックからUSB機器を外す。

3 カバーを閉じる。

※開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。



アドハイス

- USB機器を外して再度接続し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生が始めます。 ※USB機器認識中(再生中)に外した場合、または別のUSB機器を接続した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSB機器を外すとデータがこわれたり、USB機器が破損するおそれがあります。必ずUSBソースを終了(OFF)にして外してください。

お願い

- USBソースのときに、ウォークマン®の接続・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のエンジンスイッチを0(ロック)にしたあとは、必ずウォークマン®を取り外してください。ウォークマン®の電池を消耗することがあります。

BLUETOOTH Audioを使う

機器を初期登録設定する

BLUETOOTH Audio機器の登録は、本機とBLUETOOTH Audio機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、BLUETOOTH Audio機器の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **携帯電話機器登録** → **Bluetooth Audio** をタッチする。



すでにBLUETOOTH接続済みの機器がある場合、その機器のBLUETOOTH接続を切断するかメッセージが表示されるので **はい** を選んで切断してください。

2

BLUETOOTH Audio 機器側を操作して登録を行う。

※登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチすると登録が完了します。



※接続待機中に **中止** をタッチすると接続を中止し、端末登録設定画面に戻ります。



- BLUETOOTH Audio 機器は2台まで登録可能です。
- BLUETOOTH Audio 機器の登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。
- BLUETOOTH Audio 機器の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。
- 本機に登録済みのBLUETOOTH Audio 機器を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。

登録した機器の詳細情報を見る／登録した機器を削除する

1

MENU → 携帯電話 → 設定 → 登録機器一覧 → Bluetooth Audio をタッチする。

：登録機器一覧画面が表示されます。

※表示は最大2件です。登録されているBLUETOOTH Audio 対応機器がない場合、登録機器一覧 → Bluetooth Audio は選べません。



2

情報を確認／登録機器を削除する。

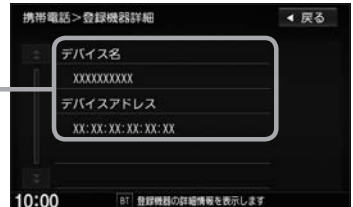
■ 登録機器の詳細情報を見る

① 詳細 をタッチする。

：登録機器詳細画面が表示されます。



登録機器詳細画面



登録しているBLUETOOTH Audio 対応機器の詳細情報を確認

■ 登録機器を削除する

① 削除したい機器の 削除 をタッチする。

：メッセージを確認し、はい をタッチすると、登録機器を削除します。



アドハイス

2台の登録があり、現在使用中のBLUETOOTH Audio 対応機器を削除した場合は、残り1台を接続可能なBLUETOOTH Audio 対応機器として自動で切り替えます。

登録機器一覧画面



アドハイス

安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録機器を切り替える

1

MENU → 携帯電話 → 設定 → 登録機器一覧 →

Bluetooth Audio をタッチする。

※表示は最大2件です。登録されている
BLUETOOTH Audio 対応機器がない場合、
登録機器一覧 → Bluetooth Audio は選べません。



2

切り替えたい機器名の **接続する** を
タッチする。

: タッチするたびにBLUETOOTH接続する対象が
切り替わります。



アドバイス

- BLUETOOTH Audio 対応機器を切り替えた際、接続するまでに時間がかかることがあります。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した機器の自動接続／優先接続を設定する

1

MENU → 携帯電話 → 設定 → 登録機器一覧 → Bluetooth Audio をタッチする。

：登録されている BLUETOOTH Audio 対応機器の一覧が表示されます。

※登録されている BLUETOOTH 対応機器がない場合は、登録機器一覧 は選べません。

2

設定をする。

■ 自動接続の設定

① 設定を選び、タッチする。

する	ナビゲーション起動時に本機と BLUETOOTH Audio 対応機器を自動で接続
しない	ナビゲーション起動時に本機と BLUETOOTH Audio 対応機器を自動接続しない ※自動接続しない設定にしても BLUETOOTH Audio 対応機器から接続が行われた場合は接続を行います。



- 自動接続をする設定にしても BLUETOOTH Audio 対応機器が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末の BLUETOOTH 接続を OFF にしているなど)の場合は接続できません。
- BLUETOOTH Audio 対応機器を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

■ 優先接続の設定

① 優先したい BLUETOOTH Audio 対応機器の **優先する** をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチを I (アクセサリ) または II (ON) にしたときより設定が有効となります。

※自動接続をしない設定にすると **優先する** は選べません。



- 登録機器が 1 台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

BLUETOOTH Audioを使う

3 設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

1 **MENU** → **携帯電話** → **設定** →
Bluetooth本体情報 をタッチする。



本機のBLUETOOTH情報を表示

デバイス名/パスキーを変更する

1 **MENU** → **携帯電話** → **設定** → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

2 ■ デバイス名を変更する

- ① **デバイス名変更** をタッチする。
- ② 英数字でデバイス名を入力し、**決定** をタッチする。



■ パスキーを変更する

- ① **パスキー変更** → **Bluetooth Audio** をタッチする。
- ② 数字でパスキーを入力し、**決定** をタッチする。



安全上の配慮から車の完全に停止した場合のみ操作できます。

音楽を再生する

1

AUDIOメニュー(☰ A-14)から **Bluetooth Audio** をタッチする。

※機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは▶をタッチしてください。



- * 1…AVRCP ver.1.0では非表示
- * 2…AVRCP ver.1.3以下では非表示／操作非対応

表示					
残量	無し	少	←	→	多



アドバンス

- 機器によっては、リストを表示するのに時間がかかる場合があります。
- 携帯電話の仕様によっては、携帯電話側のオーディオプレイヤーを起動させる必要があります。また、オーディオプレイヤー画面中でないと正しく操作できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、オーディオ出力先を切り替えられる場合があります。その場合は出力先をBLUETOOTHにしてください。
- 機器によっては、機器側で操作を行うと、本機で表示される内容と機器側で表示される内容が異なる場合があります。
- 機器によっては、再生モードが正しく反映されない場合があります。
- 機器の仕様によっては、表示部の内容は機器の表示と一致しない場合があります。また機器によっては、本機で表示できないことがあります。
- 機器によっては、電池残量表示が表示されない場合があります。

選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする


① ◀▶ をタッチする。

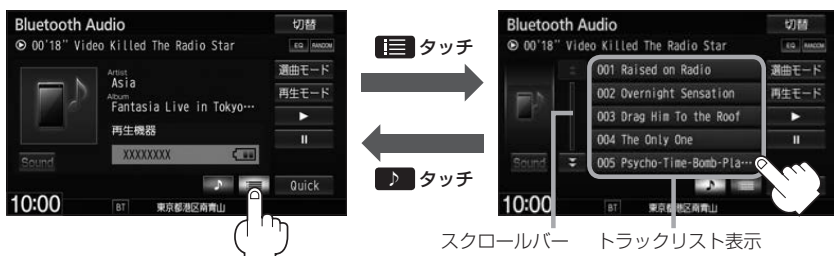
BLUETOOTH Audioを使う

■ トラックリストから選曲する ※ AVRCP ver. 1.3以下では操作できません。

① →再生したい曲をタッチする。

※スクロールバーの位置表示／操作はできません。

※トラックリストの先頭から  をタッチして最後尾に移動はできません。
(最後尾から先頭へも移動できません。)



アドバイス

トラック名が表示しきれない場合にリストをタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。

※トラック名スクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

■ 選曲モードから選曲する ※ AVRCP ver. 1.3以下では操作できません。

① **選曲モード** →選曲方法をリストから選んでタッチする。

：選曲モードに表示される内容や以降の操作は機器によって異なります。

② **再生中画面** をタッチする。

：再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると、ひとつ前の画面に戻ります。



アドバイス

- 機器のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 機器によっては、ボタン表示をタッチしても、選曲モード画面を表示できない場合があります。

走行中の操作制限について

リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になります。



音楽を早戻し／早送りする

1

 を長押しする。



アドバイス

早送り／早戻しをすばやく解除すると、機器によっては早送り／早戻しが解除されない場合があります。そのような場合は  (再生) または  (一時停止) をタッチして解除してください。

音楽をリピート／ランダム再生する

※ AVRCP ver.1.3以下では操作できません。

1

再生モード をタッチする。

2

再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示) ←
	↓
	リピート再生解除 (マーク非表示) ←
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生 (RANDOM 表示) ←
	↓
	ランダム再生解除 (マーク非表示) ←



アドバイス

- ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。
- AVRCP ver.1.4以上対応でリピート／ランダム再生可能なBLUETOOTH Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます。(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

Music Rack を使う

音楽CDを1曲も録音していない場合は、Music Rack を聞くことはできません。
(録音について[図1-1])

音楽を再生する

1 AUDIOメニュー([図] A-14)から **Music Rack** をタッチする。



ヘッドアイス

- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は最大で全角32(半角64)文字です。
- アルバム名がGracenoteデータベースから取得できていない場合は、“新規アルバム XXXXXXXX”と表示されます。
- アーティスト名がGracenoteデータベースから取得できていない場合は、“新規アーティスト”と表示されます。
- 該当するジャンル名がない場合は“その他”と表示されます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。走行中はスクロールしません。

選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

- ① ◀◀ / ▶▶ をタッチする。

■ トラックリストから選曲する


- ①  → 再生したい曲をタッチする。



トラックリスト表示



アドバース

- 表示されるリストは選曲モード( H-36)によって変わります。
- トラック名が表示しきれない場合にリストをタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※トラック名スクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。



■ アルバム選曲する

- ①  → 再生したいアルバムをタッチする。

：タッチしたアルバムの先頭の曲を再生します。



アドバース

- 選曲モードで **ジャンル** / **お気に入り** (お気に入りトラック) を選んだ場合は、 はタッチできません。
- 表示されるリストは選曲モード( H-36)によって変わります。

Music Rackを使う

■ 選曲モードから選曲する

① 選曲モード → 選曲方法を選んでタッチする。

※走行中は、安全のため **全曲** 以外は操作できません。

② 表示されるリストから選んでいき、再生したい曲を選んでタッチする。

全曲	再生画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。
アルバム	再生したいアルバム → トラックをタッチ
アーティスト	再生したいアーティスト → アルバム → トラックをタッチ
ジャンル	再生したいジャンル → トラックをタッチ
お気に入り	<p>① 再生したいお気に入りアルバム(1～4) / お気に入りトラック(1～4)をタッチ</p> <p>② ■ ①で再生したいお気に入りアルバム(1～4)を選択した場合 再生したいアルバム → トラックをタッチ</p> <p>■ ①で再生したいお気に入りトラック(1～4)を選択した場合 再生したいトラックをタッチ</p> <p>※お好みの曲だけを集めることもできます。 あらかじめお気に入り登録をすることがあります。</p>

③ 再生中画面 ◀ をタッチする。

：再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。



- 録音した曲数が増えるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- ジャンルリスト、お気に入りリストで再生したいジャンル、お気に入り登録曲を選んだときに該当するトラックがない(Gracenote データベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。
- アーティストリスト / アルバムリストのとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。
※名前順表示にしても他の画面を表示すると登録順表示になります。

アーティストリスト(例)



アーティスト名に“よみ”が入っているものを名前順に表示
 (“よみ”が入っていないものは、その下に表示)

本機に録音した順に表示
(新しいものがリストの一番上)

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

音楽を早戻し／早送りする

1

 を長押しする。

音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する

1

再生モード をタッチする。

2

再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート (REPEAT TRACK 表示) ← ↓ リピート再生解除 (マーク非表示) ←
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生 (RANDOM 表示) ← ↓ ランダム再生解除 (マーク非表示) ←
スキャン	曲の初め(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 今聞いているリストの中からスキャン再生 (SCAN 表示) ← ↓ スキャン再生解除 (マーク非表示) ←



アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

Music Rack の曲管理を行う

曲の削除／曲情報(アーティスト名など)の変更(直接入力／再検索／オンライン検索)／再生したい曲の選択ができます。

1

編集 → **曲管理** をタッチする。

※曲管理を行う際、再生を停止するメッセージが表示されます。



2

アルバムまたはトラックを選ぶ。

アルバムリストを編集

- ・アルバムごと削除したい
- ・アルバム名を変更したい
- ・アルバム内の曲のアーティスト名を一括で変更したい
- ・再生させないアルバムを選びたい
- ・お気に入りにアルバムを登録したい

① アルバムリストから
アルバムを選んでタッチする。

② 手順 **3** へ



トラックリストを編集

- ・曲を削除したい
- ・曲名とアーティスト名を変更したい
- ・再生させない曲を選びたい
- ・お気に入りにトラックを登録したい

① アルバムリストから
アルバムを選んでタッチする。

② **トラック表示** をタッチする。

③ トラックを選んでタッチする。

④ 手順 **3** へ



3

操作したい項目を選ぶ。

■ 曲を削除する

① **削除** をタッチする。



注意 削除中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。

■ 再生させないアルバム／トラックを選ぶ

- ① **再生選択** をタッチする。
- ② 再生させない曲の**✓**印を非表示にする。

※アルバム／トラックをタッチするたびに**✓**印が表示／非表示となります。



- ③ **決定** をタッチする。

アドバース

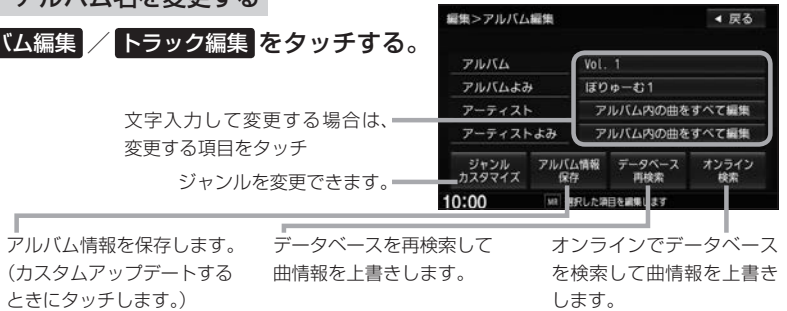
- ✓**印を外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル／お気に入りのリストには反映されません。
- ✓**印を外して再生しない設定にしても、選曲モードでアーティスト名は表示されます。
- 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に**前へ**／**次へ**が表示されます。**前へ**／**次へ**をタッチして100アルバムごとに再生選択をしてください。

■ 曲情報／アルバム名を変更する

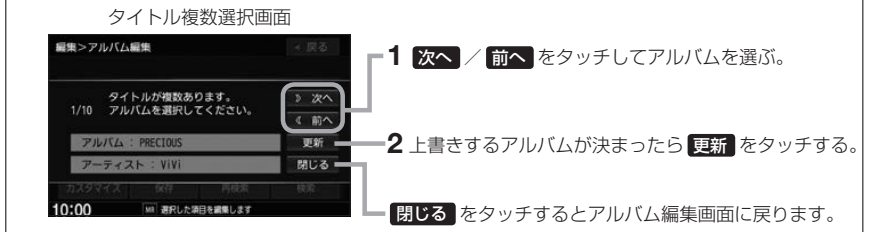
- ① **アルバム編集**／**トラック編集** をタッチする。

文字入力して変更する場合は、
 変更する項目をタッチ
 ジャンルを変更できます。

アルバム編集画面(例)



アドバース **データベース再検索**／**オンライン検索** をタッチして複数検索された場合は下記画面が表示されます。



Music Rack を使う

ジャケット写真を登録する

1 **編集** → **曲管理** をタッチする。

※ジャケット写真を登録する際、再生を停止するメッセージが表示されます。

2 ジャケット写真を登録したいアルバムを選んで、**ジャケット写真** をタッチする。

3 登録したい画像ファイルが入ったメディアを選んで、**ジャケット写真を選択する** をタッチする。



4 登録したい画像ファイルが入っているフォルダを選んで、登録したい画像をタッチする。



アドバンス



登録した画像は再生画面で表示

- ジャケット写真に登録できる画像はJPEG形式のみです。
- 登録するジャケット写真は176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。

※ 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示されます。

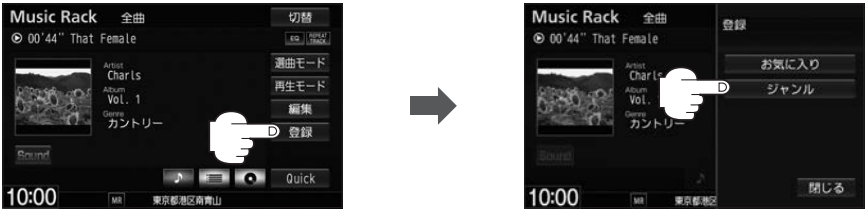
※ 16×16ピクセル未満の画像は登録できません。

ジャンルを変更する

1

ジャンルを変更したい曲の再生中に **登録** → **ジャンル** をタッチする。

※変更する際、再生を停止するメッセージが表示されます。



2

アルバム単位 / **トラック単位** → ジャンルを選んでタッチする。

: ジャンル名が変わります。



お気に入りに登録する

再生中の曲をお気に入りに登録して、オリジナルリストを作成できます。

1

お気に入りに入れたい曲／アルバムの再生中に **登録** → **お気に入り** をタッチする。

※お気に入りに登録する際、再生を停止するメッセージが表示されます。

2

登録先のお気に入りフォルダをタッチする。

再生中のトラックのアルバムを登録したい	お気に入りアルバム1 ～ お気に入りアルバム4 を選んでタッチ
再生中のトラックを登録したい	お気に入りトラック1 ～ お気に入りトラック4 を選んでタッチ



アドバイス

- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成

お気に入りアルバム1

フォルダ 200アルバム (200CD)

お気に入りアルバム2

フォルダ 200アルバム (200CD)

お気に入りアルバム3

フォルダ 200アルバム (200CD)

お気に入りアルバム4

フォルダ 200アルバム (200CD)

4つのアルバム
フォルダ

1フォルダに200アルバム
合計800アルバム登録可能

お気に入りトラック1

フォルダ 200トラック (200曲)

お気に入りトラック2

フォルダ 200トラック (200曲)

お気に入りトラック3

フォルダ 200トラック (200曲)

お気に入りトラック4

フォルダ 200トラック (200曲)

4つのトラック
フォルダ

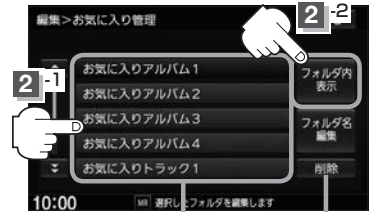
1フォルダに200曲
合計800曲登録可能

- 曲管理からお気に入り登録できます。

お気に入りから削除する

1 **編集** → **お気に入り管理** をタッチする。

2 お気に入りフォルダを選んで、**フォルダ内表示** をタッチする。



お気に入りフォルダのリスト
お気に入りフォルダ内の曲を一括して削除

3 お気に入りから削除したいアルバム／曲を選んで、**削除** をタッチする。



注意 削除中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

お気に入りフォルダ名を変更する

1 **編集** → **お気に入り管理** をタッチする。

2 お気に入りフォルダを選んで、**フォルダ名編集** をタッチする。

3 文字入力して変更し、**決定** をタッチする。

フェード・バランスの調整をする

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。
※オーディオOFFのときはフェード・バランスの調整はできません。

1 **MENU** → **設定** → **AUDIO 設定** → **フェードバランス** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 ◀ / ▶ / ▼ / ▲ をタッチして調整する。

※イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。

◀	右スピーカーの音量が下がる。
▶	左スピーカーの音量が下がる。
▼	前スピーカーの音量が下がる。
▲	後ろスピーカーの音量が下がる。



音量バランスをセンターに戻す

3 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

イコライザー(音質)の設定をする

再生する音楽の音質を選んだり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。
※オーディオOFFのときはイコライザーの調整はできません。

1 **MENU** → **設定** → **AUDIO 設定** → **イコライザー** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。



交通情報受信中は、イコライザーの設定はできません。(ボタンは選べません。)

2 お好みの音質を選ぶまたは値を設定する。

■ お好みの音質を選ぶ

① 設定したい音質をタッチする。

：音質が確定され、選んだ音質で再生されます。
※さらにお好きな値に調整することもできます。



イコライザー設定を解除します。

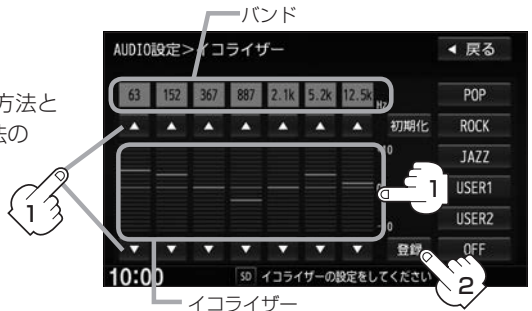


POP / **ROCK** / **JAZZ** の値は本機に既存の値が設定されています。
USER1 / **USER2** の値は OFF 状態(±0)に設定されています。

□ お好きな値に調整するには

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と
▲ / ▼ をタッチする方法の
2種類があります。
▲ … レベルアップ
▼ … レベルダウン



2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。

イコライザー
※イコライザーの — の部分
が値(レベル)を表します。



走行中、イコライザーの値を調整することはできません。

3 設定を終えるには、戻る をタッチして表示したい画面まで戻る。



- 登録 をタッチする前に音質を変更(**POP** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER1** / **USER2** を選択)すると、設定した値(レベル)は保存されません。
- 手順 2 で音質を選ぶと DSP, SRS CS Auto (H-46) は自動的に OFF となります。
- イコライザー設定中はオーディオ画面のとき **EQ** マークが表示されます。



イコライザー画面を表示

マーク表示


サラウンドの設定をする

※オーディオ OFF のときはサラウンドの調整はできません。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **サラウンド** をタッチする。

※ DVD ソース時は **MENU** を 2 回タッチします。


 SRS CS Auto	4 スピーカーのまま、5.1 ch を使用しているようなサラウンドを再現します。 ※ 2 スピーカーではサラウンド効果は得られません。
DSP	いろいろな環境のサラウンドを擬似的に再現することができます。
OFF	サラウンド効果設定を OFF にします。



交通情報受信中は、サラウンド(臨場感)の設定はできません。(ボタンは選べません。)

2

DSP / **SRS CS Auto** を選んでタッチする。

DSP	擬似再現したい音場環境を選んでタッチ LIVE …… ライブハウスのような音場 HALL …… コンサートホールのような音場 STADIUM …… スタジアムのような音場 CHURCH …… 残響音の多い教会のような音場
 SRS CS Auto	FOCUS / TruBass / MixToRear を選んでタッチ FOCUS …… 感覚的に、耳の高さから音が聞こえるように調整できます。 (車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります。) + / - をタッチして、フロントおよびリアを調整してください。 (+ …… 音の聞こえてくる位置が高くなる - …… 位置が低くなる) TruBass …… サブウーファー使用時に迫る重低音を楽しめます。 低音の強さを、フロントおよびリアで設定できます。 + / - をタッチして調整してください。 (+ …… 低音が強くなる - …… 低音が弱くなる) MixToRear …… DVD によってはセリフなどがフロントスピーカーのみで出力されるものがあります。フロントの出力を後席にも出力できるように設定できます。 ◀ / ▶ をタッチして、出力量を調整してください。 (◀ …… 出力量が小さくなる ▶ …… 出力量が大きくなる)



DSP と SRS CS Auto の同時設定はできません。

DSP、**SRS CS Auto** を選ぶとイコライザーの設定は自動的に OFF となります。

3

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

スピーカーの設定をする

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時の音のゆがみを抑制することができます。

※オーディオOFFのときはスピーカーの調整はできません。

1

MENU → **設定** → **AUDIO設定** → **スピーカー** をタッチする。

※DVDソース時は**MENU**を2回タッチします。

2

LARGE / **NORMAL** を選んでタッチする。



選んだ結果が反映される

 : NORMAL 選択時

 : LARGE 選択時

位置／大きさ	LARGE	NORMAL
フロント	17 cm以上	16 cm以下
リア	17 cm以上	16 cm以下

※スピーカーの大きさは目安ですので、設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で低音を確認し、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選んでください。

3

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

車速連動音量を設定する

車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

1 **MENU** → **設定** → **AUDIO 設定** → **車速連動音量** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **HIGH** / **MIDDLE** / **LOW** / **OFF** から選んでタッチする。

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの中間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない



3 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

Music Rack に音楽を録音する

音楽CDの録音設定をする	2
音楽CDを録音する	3
タイトル情報の更新について	5
個別にタイトル情報を更新する	5
データベースを更新する	5
ローカルアップデートをする	7
カスタムアップデートをする	8
Music Rack へ録音時の注意点について	10
Music Rack の使用容量を確認する	11
Gracenote データベースのデータを 初期化する	12
録音データを初期化する	12

音楽CDの録音設定をする

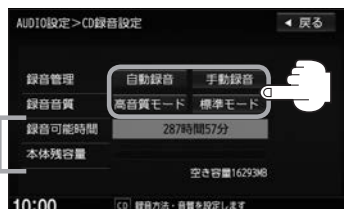
1

MENU → 設定 → AUDIO設定 → 録音管理 をタッチする。

2

CD録音設定 → 録音方法を選んでタッチする。

録音可能時間や本機の残容量を表示



録音管理	自動録音 …音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機に曲の録音を開始します。
	手動録音 …自動録音しません。手動の録音方法 [P] I-3
録音音質	高音質モード …高音質で録音します。音の質は良くなりますがデータ容量は大きくなります。
	標準モード ……標準で録音します。音の質は下がりますがデータ容量は小さくなります。



- 1曲でも録音済みの音楽CDを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。) 未録音の曲を録音したい場合は、●録音 → ●録音開始 をタッチしてください。録音する曲を選ぶ場合は [P] I-3
- 手動録音のときは、CDソースで録音前にオンライン検索でタイトル情報を取得できます。
- 録音可能曲数と容量は以下の通りとなります。

録音可能曲数*1	約4000曲
最大容量	16 GB

* 1… 録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
(録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4600曲となります。)

※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

音楽CDを録音する


音楽CDを本機に録音できます。

録音管理で **自動録音** に設定している場合、未録音の音楽CDを挿入したとき、自動で録音が始まります。1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合、未録音の曲は自動録音されません。未録音の曲やお好みの曲などを録音する場合や **自動録音** に設定していない場合は、下記の手順を行ってください。

1 CD再生画面で **録音** をタッチする。



2 録音方法を選ぶ。

全ての曲を録音	全曲録音 をタッチ ：音楽CD内にある全ての曲を録音します。ただし本機の容量が足りない場合、 全曲録音 はタッチできません。 ※録音順は音楽CDに収録されているとおりとなります。
曲を選んで録音	選択曲録音 → 録音したい曲を選ぶ → 決定 をタッチ 録音曲選択画面  トラックをタッチするたびに✓印の有無が切り替わります。 ☑：録音します。 ☐：録音しません。



Gracenoteデータベースにヒットしない場合、録音曲選択画面は“トラックXX”(XXはトラック番号)と表示されます。

3

●録音開始 をタッチする。

：全曲または録音曲選択画面で選んだ曲の1曲目から順に再生しながら録音します。



録音中画面(例)



録音を中止

※録音を中止してもすでに録音したトラックは本機に保存されます。



アドバイス

- 本機が自動的にトラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名を付加します。(CD-TEXTの情報は付加しません)
 - ※録音された音楽の情報がGracenoteデータベースで取得できる場合に限りです。データベースはお客様で更新できません。(新曲が出たときなど)
- 全ての曲の録音が完了すると、自動で録音を終了し、録音完了時に再生していた曲を継続再生します。
- 録音をしながら他のソースにすることができます。
 - ※録音が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが数秒間表示されます。
- CDソースでリピート/ランダム/スキャン再生を設定している場合に録音を行うと設定は解除されます。

タイトル情報の更新について

本機にはあらかじめ音楽CDの約95%のタイトル情報を取得できるデータベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・トラック名などを付けることができます。

※全てのタイトル情報の取得および正確性を保証するものではありません。

※データベースにタイトル情報がない場合は、誤ったタイトル情報を表示する場合があります。

本機に収録されているGracenoteデータベースは更新することができます。更新する方法は、1つのCDアルバムのタイトル情報を個別に更新する方法と、本機のデータベースを更新する方法があります。

個別にタイトル情報を更新する

Gracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、インターネット用データ通信USBを使用してGracenote音楽認識サービスよりオンラインで取得できます。(オンライン検索)

オンライン検索する方法は、録音を行う前のCD再生画面からタイトルを取得する方法とMusic Rack再生画面からタイトルを取得する方法の2種類あります。(録音済みの曲をオンライン検索する場合は、Music Rackから行ってください。)

それぞれの画面で **オンライン検索** をタッチすると、タイトル情報が更新されます。詳しい手順は、CD再生画面からの場合(☞P H-8)、Music Rackからの場合(☞P H-38)を参照してください。



アドバイス

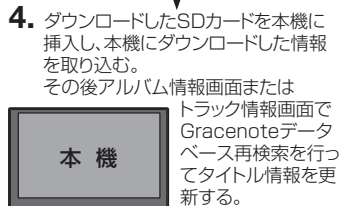
インターネットデータ通信を利用しないで個別更新する場合は、カスタムアップデート(☞P I-8)を行ってください。パソコンを使用してインターネットから個別更新が行えます。

データベースを更新する

Hondaのホームページで定期的に提供される更新ファイルを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。(ローカルアップデート)

※SDカードの代わりにUSBメモリーでもできます。

1. SDカードをパソコンに挿入する。
2. 指定のホームページにアクセスし、ユーザー登録する。
3. SDカードにダウンロードする。



4. ダウンロードしたSDカードを本機に挿入し、本機にダウンロードした情報を取り込む。その後アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行ってタイトル情報を更新する。

タイトル情報の更新について



アドバイス

- ローカルアップデートおよびカスタムアップデートを行うには、パソコン、インターネット接続環境（64 kbps以上推奨）、SDカード（8 MB以上）などの動作環境を整えていただく必要があります。
※パソコンの動作環境（OSなど）については、指定ホームページをご覧ください。
- ローカルアップデート、カスタムアップデートには専用アプリケーションが必要です。専用アプリケーションは指定ホームページから入手できます。操作手順（操作方法）は指定ホームページ^(注)でご確認ください。ご利用いただくにはユーザー登録をお願いいたします。

(注)：指定のホームページ

VXM-155VFNiの場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-155vfn/>

VXM-155VFEiの場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-155vfei/>

VXM-155VFiの場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-155vfi/>

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

ローカルアップデートをする

Hondaのホームページで定期的に提供される更新ファイルを使って、本機に収録されている Gracenote データベースを最新の情報に更新することができます。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **Gracenote データベース** をタッチする。

※ **Gracenote データベース** は走行中／録音中は選べません。

録音

2

ローカルアップデート(定期更新) をタッチする。

※ AUDIO ソースによっては再生が停止されます。



アドバイス

ローカルアップデートする前に

1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロードする。
 2. 更新ファイルをパソコンにダウンロードする。
 3. ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角で NVDATA フォルダを作成する。
 4. パソコンにダウンロードした更新ファイルを NVDATA フォルダに移動させ、SD カードまたは USB 機器に取り込む。
 5. SD カードまたは USB 機器を本機に挿入／接続する。
- ※ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行います。

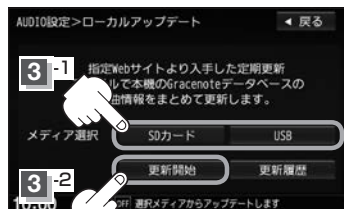
3

メディアを選んで、**更新開始** → **はい** をタッチする。



注意

更新中は他の操作(ソースの切り替え/車のエンジンスイッチ変更/電源を切る/CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。



更新履歴 をタッチすると、SD カードまたは USB 機器から更新した Gracenote データベースのバージョンを確認することができます。

バージョン更新履歴確認画面



お買い上げ時のバージョンを表示
お客様が追加されたデータベースのバージョンを表示

Gracenote データベース検索でここに表示されていないバージョンを更新してください。バージョン情報は、一定の個数を超えると古い順に上書きされます。



アドバイス

最新の更新ファイルを更新しても、全てのデータベースが更新されるわけではありません。更新したい期間の更新ファイルを全てダウンロードし、更新を行ってください。

ローカルアップデートをする

4

取り込み(更新)完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、**OK** をタッチする。

本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチしてタイトル情報を更新してください。
※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

カスタムアップデートをする

あらかじめUSBメモリーを本機と接続、またはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

1

アルバム情報を一旦本機に保存する。

■ 新規アルバム(No title表示)のとき

自動でアルバム情報が保存されますので手順 **2** に進んでください。

■ 間違ったタイトルを表示しているとき

- ① Music Rack 再生画面の **編集** → **曲管理** → **はい** をタッチする。
- ② 間違ったアルバムをタッチ → **アルバム編集** → **アルバム情報保存** をタッチする。



2

SDカード／USBメモリーにデータの書き出しをする。

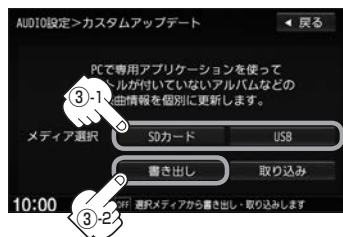
- ① **MENU** → **設定** → **AUDIO設定** → **Gracenoteデータベース** をタッチする。

※ **Gracenoteデータベース** は走行中／録音中は選べません。

- ② **カスタムアップデート(個別更新)** をタッチする。

※ AUDIOソースによっては再生が停止されます。

- ③ **SDカード** / **USB** → **書き出し** → **はい** をタッチする。



3 パソコンを使って更新する。

- ① 本機よりSDカード／USBメモリーを取り外し、パソコンに挿入／接続する。
- ② パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。
- ③ 取得した情報をSDカード／USBメモリーに取り込む。

4 本機にデータの取り込みをする。

- ① SDカード／USBメモリーをパソコンより取り外し、本機に挿入／接続する。
- ② **MENU** → **設定** → **AUDIO設定** → **Gracenoteデータベース** をタッチする。
- ③ **カスタムアップデート(個別更新)** をタッチする。
- ④ **SDカード** / **USB** → **取り込み** → **はい** をタッチする。

注意 更新中は他の操作(ソースの切り替え/車のエンジンスイッチ変更/電源を切る/CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

5 本機に取り込んだ情報を反映する。

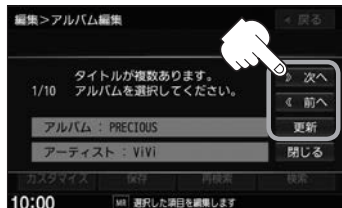
- ① Music Rack 再生画面の **編集** → **曲管理** → **はい** をタッチする。
- ② タイトル情報を更新したいアルバムをタッチ → **アルバム編集** をタッチする。
- ③ アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチする。

：本機に取り込んだ情報が反映されます。



データベース再検索を行ったときにタイトル情報が複数ある場合

次へ / **前へ** で好きなアルバムを選んで、**更新** をタッチする。



Music Rackへ録音時の注意点について

- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、本機内の保存データについては補償できません。
 - 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。
- 車のエンジンスイッチを0(ロック)またはオーディオをOFF状態にしても前回設定した手動/自動の選択、録音音質は保持されます。
 - 本機のMusic Rackへの録音は音楽CDのみです。MP3/WMAファイル、DVD、FM、AM、Digital TV、SDカード、BLUETOOTH Audio、USB機器、iPodなどから録音することはできません。
 - 車のエンジンスイッチを「I(アクセサリ)」の状態に録音しているときに、「II(始動)」にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失するおそれがあります。また、その他のデータが壊れたり、本機が故障するおそれがあります。
 - ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音する音楽CDに依存しますのでご了承ください。
 - 録音の開始時や、終了時には、数秒間音楽や音声が停止することがあります。
 - ・ 音楽CDを録音中にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが数秒間表示されます。
 - 録音中、ソースを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
 - 本機で録音した音楽CDは、重複して録音することはできません。
 - 自動録音に設定した場合、すでに本機に録音済みまたは1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。未録音の曲を録音したい場合は録音方法を選んで録音を開始させてください。[P] I-3
 - 音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
 - 録音可能時間が音楽CDの演奏時間より短い場合は録音されません。
 - 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDは正常に録音、再生できない場合があります。
 - 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、音楽CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
 - 録音終了後、現在再生している曲の再生が終わるまで早送り/早戻し、再生モードの変更はできません。
 - 録音を行うと録音前に設定されていた再生モードは解除されます。
 - 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
 - ・ 録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合
 - ・ 録音中に音楽CDを取り出した場合

Music Rack の使用容量を確認する

本機の Music Rack 内の使用状況を確認することができます。

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **録音管理** をタッチする。

：録音管理画面が表示されます。

2

Music Rack 情報 をタッチする。

：本機の Music Rack の使用状況が表示されます。

3

使用状況を確認したら、

AUDIO をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

録音



音楽データの使用情報



Gracenote データベースのデータを初期化する

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **Gracenote データベース** をタッチする。

※ **Gracenote データベース** は走行中／録音中は選べません。

2

初期化 をタッチする。

※ AUDIO ソースによっては再生が停止されます。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行ってください。

3

設定を終えるには、**AUDIO** をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

- 初期化中は他の操作(AUDIOソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **はい** を選ぶと、お客様が今まで更新したデータ(ローカルアップデート／カスタムアップデート)は消去され、データはもとに戻りません。初期化は十分確認のうえ行ってください。

録音データを初期化する

1

MENU → **設定** → **AUDIO 設定** → **録音管理** をタッチする。

：録音管理画面が表示されます。

2

音楽データ初期化 をタッチする。

※再生を停止するメッセージが表示されたら、**はい** をタッチしてください。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行ってください。

※ AUDIO ソースによっては再生が停止されます。

3

設定を終えるには、**AUDIO** をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

- 初期化中は他の操作(AUDIOソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更するなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **はい** を選ぶと、お客様の音楽データは消去され、もとに戻りません。

J

DVDを見る

映像
DVD

DVDを見る	J-2
基本的な操作	J-2
音声言語／字幕言語／アングル(角度)を切り替える	J-3
リピート再生する	J-3
タイトルメニュー／DVDメニューを操作する	J-4
タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する	J-4
TITLE／CHAPTERとTIMEの表示を切り替える	J-5
好みのタイトル／チャプターから再生する	J-5
DVDの初期設定をする	J-6
言語設定	J-6
ダイナミックレンジ圧縮の設定	J-8
モニター設定	J-8
視聴制限レベルの設定	J-9

DVDを見る

1

ディスクを入れ(☞ A-16)、
AUDIOメニュー(☞ A-14)から **CD/DVD** をタッチする。

：再生が始まります。DVDにDVDメニューが収録されているものは、DVDメニューを操作して再生してください。(☞ J-4)



- DVDの映像を調整するには(☞ O-24)
- 再生できるDVDについて(☞ O-31)

基本的な操作

本体パネルのボタンやタッチパネルの操作ボタンで操作します。
操作ボタンはDVD再生中に **MENU** をタッチ、または画面をタッチすると表示します。



操作ボタン

早戻し／早送り	/ を長押しする
再生停止	(停止)をタッチ ：停止画面が表示されます。 ※再生中に (停止)をタッチすると、再生を止めた位置をメモリーします。(ディスクによってはメモリーしません。) 続き再生解除 をタッチまたはディスクを取り出すと解除されます。
一時停止／再生	再生中に をタッチ ：一時停止します。 ※再生停止／一時停止のとき をタッチすると再生します。
スロー戻し／スロー送り	一時停止中に / を長押しする ※スロー中は音声は出ません。 ※VRモードでは、スロー戻しに対応していません。
チャプター戻し／チャプター送り	/ をタッチ



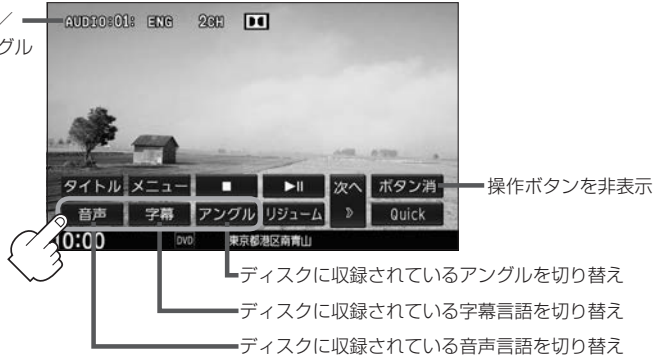
ディスクによっては操作の一部を禁止しているものがあります。

音声言語 / 字幕言語 / アングル(角度)を切り替える

- 1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
音声 / **字幕** / **アングル** をタッチする。

：タッチするたびに切り替わります。

選んだ音声言語 /
字幕言語 / アングル
を表示



映像
DVD



アドバイス

- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。
- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は別の音声に切り替えてください。
- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- ディスクによっては、操作ボタンでは音声言語 / 字幕言語の切り替えができないものがあります。その場合は、DVDメニューや言語設定で切り替えてください。

リピート再生する

- 1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **リピート** をタッチする。

： **リピート** をタッチするたびにリピート表示が切り替わります。

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでもリピート再生できないものもあります。

※ディスクによっては、CHAPTER REPEAT中に早戻し / 早送りするとCHAPTER REPEATが解除される場合があります。

リピート表示

- **CHAPTER REPEAT**
再生中のチャプターを繰り返す
- **TITLE REPEAT**
再生中のタイトルを繰り返す
- **REPEAT OFF**
リピート再生しない



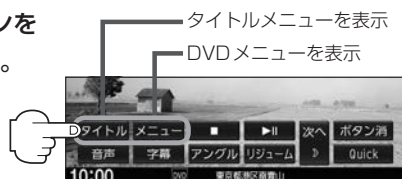
DVDを見る

タイトルメニュー／DVDメニューを操作する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

■ メニューを表示する

- ① DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、**タイトル**／**メニュー** をタッチする。



■ メニューを操作する

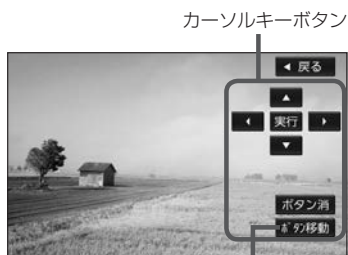
タイトルメニュー／DVDメニューの操作は、メニュー項目をタッチして操作します。
(操作ボタンが表示されている場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

※タイトルメニュー／DVDメニューをタッチして操作できないDVDもあります。

その場合は、画面にカーソルキーボタンを表示させて操作してください。☞ 下記

□ カーソルキーボタンで操作する

- ① DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、**次へ**⇒**カーソル** をタッチする。
- ② ▲▼◀▶ をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。



カーソルキーボタンを画面の左右に移動

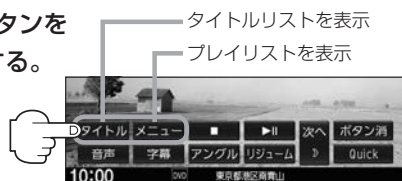
タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する

※VRモードのDVDのみ

- 1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、**タイトル**／**メニュー** をタッチする。



VRモードディスクにプレイリストがない場合、**メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。



タイトルリスト表示(例)



現在、再生しているタイトル名／プレイリスト名を表示

タイトルリスト／プレイリストを切り替え

- 2 リストより再生したいものを選んでタッチする。

TITLE / CHAPTERとTIMEの表示を切り替える

タイトル番号／チャプター番号、と再生時間の表示を切り替えます。

- 1** DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **タイム** をタッチする。

： **タイム** をタッチするたびに
表示が切り替わります。

タイム表示(例)

- **TITLE** ……タイトル番号を表示
- **CHAPTER** ……チャプター番号を表示
- **TIME** ……再生時間を表示



映像
DVD



アドバイス

タイム をタッチして表示を消すまで、表示されたままになります。

お好みのタイトル／チャプターから再生する

タイトル番号／チャプター番号を入力して、入力したタイトル／チャプターから再生します。

- 1** DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **サーチ** をタッチする。

- 2** **切替** をタッチして、画面左上表示を切り替える。

チャプターサーチ入力 → タイトルサーチ入力
↑ 非表示 ←

TITLE表示(例)



- 3** **0** ~ **9** をタッチして、
タイトル番号／チャプター番号を入力する。

※タイトル／チャプター表示が消えたら、再度 **切替** をタッチしてください。

- 4** **実行** をタッチする。



アドバイス

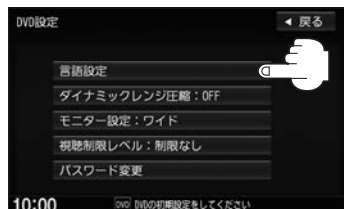
- 数字の入力はTITLE / CHAPTER表示が表示されている場合のみ有効です。
- ディスクに収録されていないタイトル／チャプター番号を入力しても無効です。
- ディスクによっては、タイトル／チャプターからの再生を禁止しているものもあります。

DVDの初期設定をする


再生言語の初期設定／ダイナミックレンジ圧縮のON/OFF／モニターのワイド表示設定／視聴制限設定の変更ができます。

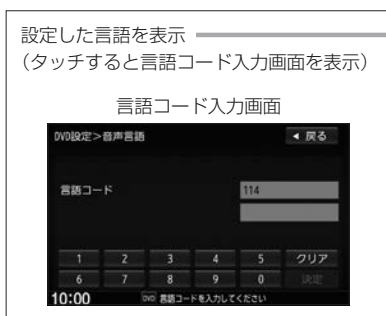
言語設定

- 1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **言語設定** をタッチする。



- 2 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更したい項目をタッチする。

※言語コード表  J-7



アドバイス

- DVD設定を変更すると、設定内容によっては続きメモリー再生が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭からの再生となります。
- 言語が **オリジナル** または **OFF** に設定されている場合は、**言語を選択** と表示されます。
- 間違った言語コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を修正するときはクリアをタッチして数字を再入力してください。
- お買い上げ時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- ディスクによっては設定されたとおりに再生しないものもあります。

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語	
1027	AA	アフガル語	1239	IE	国際語	
1028	AB	アブバジア語	1245	IK	Inupiak 語	
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カンナダ語	
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	(アフアン) オロモ語	
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語	
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ=ロマン語	
				1482	RN	キルンディ語
				1483	RO	ルーマニア語
				1489	RU	ロシア語
				1491	RW	キニヤルワンダ語
				1495	SA	サンスクリット語
				1498	SD	シンド語
				1501	SG	サンゴ語
				1502	SH	セルビアクロアチア語
				1503	SI	シンハラ語
				1505	SK	スロバキア語
				1506	SL	スロベニア語
				1507	SM	サモア語
				1508	SN	ショナ語
				1509	SO	ソマリ語
				1511	SQ	アルバニア語
				1512	SR	セルビア語
				1513	SS	シスワティ語
				1514	ST	セストゥ語
				1515	SU	スンダ語
				1516	SV	スウェーデン語
				1517	SW	スワヒリ語
				1521	TA	タミール語
				1525	TE	テルグ語
				1527	TG	タジク語
				1528	TH	タイ語
				1529	TI	ティグリニャ語
				1531	TK	トゥルクメン語
				1532	TL	タガログ語
				1534	TN	セツワナ語
				1535	TO	トンガ語
				1538	TR	トルコ語
				1539	TS	ツォンガ語
				1540	TT	タタール語
				1543	TW	トウイ語
				1547	UK	ウクライナ語
				1564	UR	ウルドゥー語
				1572	UZ	ウズベク語
				1581	VI	ベトナム語
				1587	VO	ボラビュク語
				1613	WO	ウォロフ語
				1632	XH	コーサ語
				1664	YO	ヨルバ語
				1685	ZH	中国語
				1697	ZU	ズール語

DVDの初期設定をする

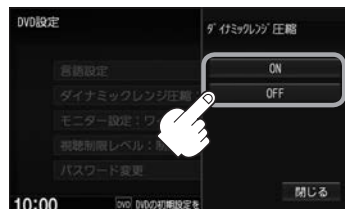
ダイナミックレンジ圧縮の設定

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **ダイナミックレンジ圧縮** をタッチする。

2 “ダイナミックレンジ圧縮” **ON** / **OFF** を
選んでタッチする。

ON	圧縮します。(小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに選びます。)
OFF	圧縮しません。(標準音域で聞くとときに選びます。)



※設定が終わったら **閉じる** をタッチしてください。

モニター設定

1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **モニター設定** をタッチする。

2 設定したいアスペクト比をタッチする。

※ 16 : 9ワイドスクリーン / 4 : 3レターボックス /
4 : 3パン&スキャンとなります。

※設定が終わったら **閉じる** をタッチしてください。



- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、ワイドに設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、**レターボックス** または **パン&スキャン** に設定してください。
※この場合は、本機のディスプレイ選択を **ノーマル** ([P] 0-25) に設定しないと不自然な画像となります。
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、フルまたはこれに相当するモードにして、本機を **レターボックス** または **パン&スキャン** に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、**レターボックス** または **パン&スキャン** の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4 : 3になるモードに設定してください。

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

視聴制限レベルの設定

視聴制限が収録されているDVDを再生するとき、パスワードを入力しないと再生できないよう設定することができます。

- 1 DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **視聴制限レベル** をタッチする。

- 2 設定したい視聴制限レベルを選んでタッチする。



映像
DVD

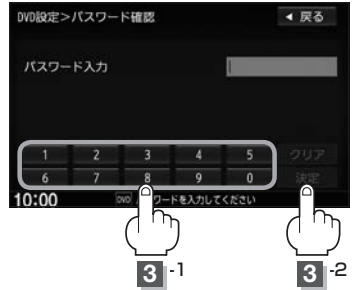
- 3 視聴制限のパスワードを入力し、
決定 をタッチする。

※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。



アドバイス

- 間違ったパスワードを入力するとエラーメッセージが表示されます。正しいパスワードを再入力してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。



3-1

3-2

■ パスワードを変更する

- ① DVD再生中に **MENU** をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ → **DVD設定** → **パスワード変更** をタッチする。
- ② 現在のパスワード／新しいパスワード／
パスワード再入力をそれぞれ入力し
決定 をタッチする。



②-1

②-2



アドバイス

- 入力した数字を修正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 変更したパスワードは、忘れないでください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。

